SONY

3-856-814-04 (1)

詳しい目次は7ページにあります。

ビデオカメラレコーダー Hi8

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



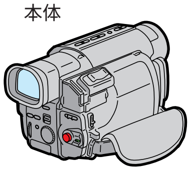
video Hi8
Handycam

CCD-TRV101

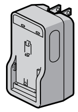
とにかく撮って見る

必要なもの

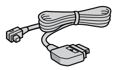
本体



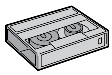
アクセサリーキット（別売り）
ACパワーアダプター



接続コード
（本機に付属）

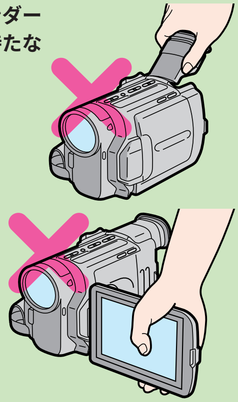


８ミリビデオカセット（別売り）



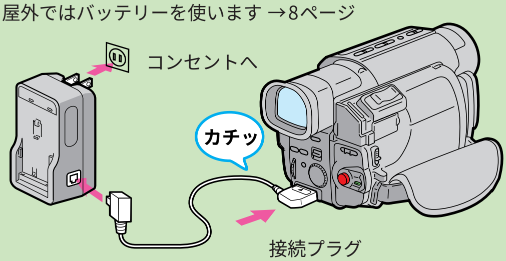
Hi8マークのついたHi8
（ハイエイト）テープをおすすめしま す。

ビューファインダーや液晶画面を持たないでください！

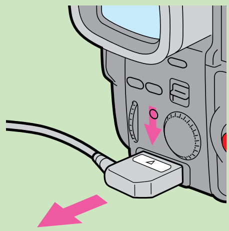


1 電源をつなぐ（47ページ）

屋外ではバッテリーを使います →8ページ

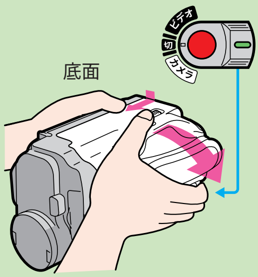


接続プラグをはずすとき
ボタンを押しながら抜く



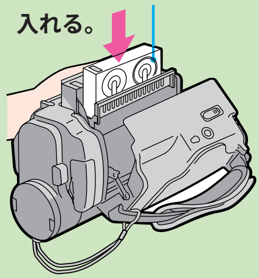
2 カセットを入れる（10ページ）

❶ **電源スイッチが「切」になっていることを確認する。**

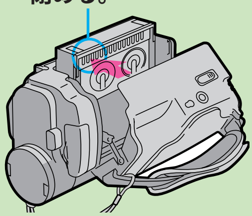


❷ **本体底面のスライドつまみをずらしながらふたを開ける。**

❸ **テープ窓を外側にして入れる。**



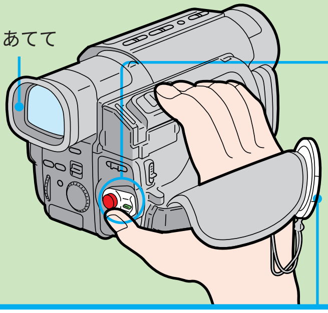
❹ **PUSH/押 マークを押して、カセット入れを閉める。**



❺ **カセットぶたをカチッと音がするまでしっかり閉める。**

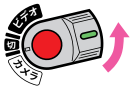
3 撮影する（12ページ）

ファインダー
この部分に目をあてて
画像を見ます。

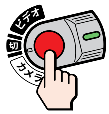


❶ **レンズキャップを取りはずす。**
グリップベルトに付ける。

❷ **緑のボタンを押しながら「カメラ」にする。**

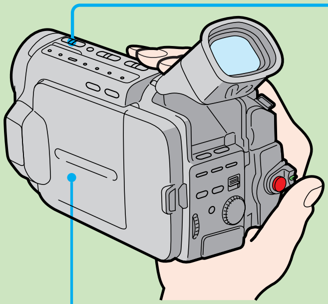


❸ **赤いボタンを押す。**
撮影が始まる。
もう一度押すと止まる。*

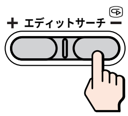


* 赤いボタンを押している間だけ撮影したり、5秒ずつ撮影するように設定するには、14ページをご覧ください。

4 撮影できたかちょっと確認する（16ページ）

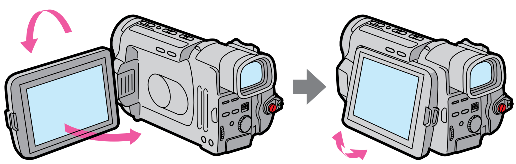


❷ **エディットサーチ⊡ボタンをポンと1回押す。**



最後に撮影した場面が数秒間液晶画面に映り、もとの位置に戻る。

❶ **液晶ロック解除ボタンを押しながら、液晶画面を開ける。**

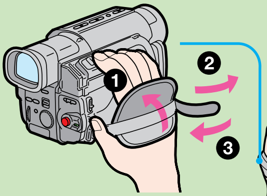


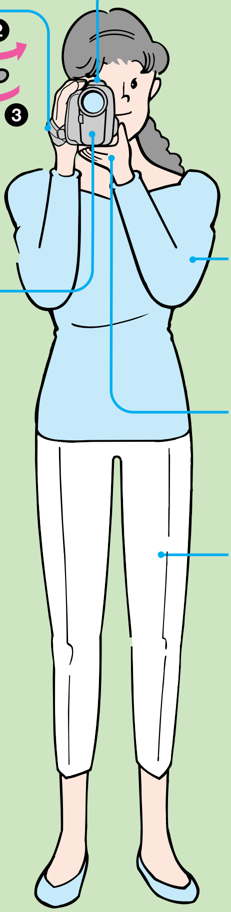
180°回転させて、閉じる。　画面を見やすい角度にする。

うまく撮る姿勢

見やすい画像にするコツは、ハンディカムを動かしすぎないことです。
ふらつかないよう、安定した姿勢で撮影しましょう。

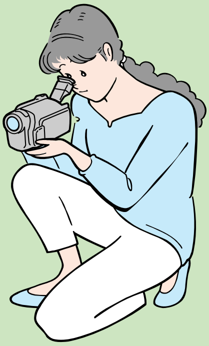
ビューファインダーをのぞいて撮るとき





低い位置で撮る姿勢（ローアングル）

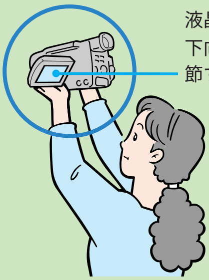
ビューファインダーを持ち上げる。



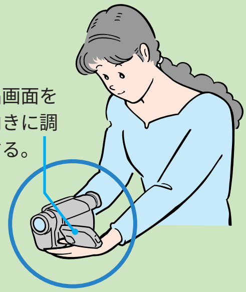
液晶画面を見ながら撮るとき



高い位置で撮る姿勢（ハイアングル）



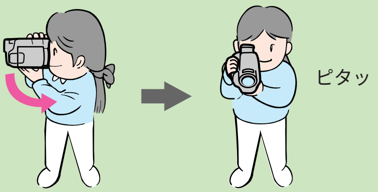
低い位置で撮る姿勢（ローアングル）



撮影の基本

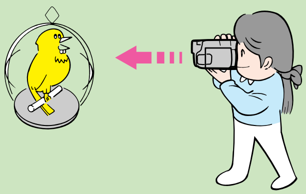
ハンディカムをふり回さない。

写真のつもりで固定して撮ります。左右に動かすとき（パンニング）は、撮り終わりの方につま先を向け、ゆっくり動かします。撮り始めと終わりは、しっかり止めます。



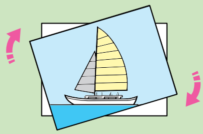
ズームは多用しない。

ズームレバーをW側（Wide：広角）にすると、ブレが少なく、ピントが合いやすい状態になります。被写体を大きく撮りたいときは近づいて撮ることをおすすめします。ズームレバーをT側（Telephoto：望遠）にして撮るよりも、音もよく入り、安定したきれいな画像が撮影できます。



安定した画面にする。

- 壁によりかかるなどして安定した姿勢をとる。
- 水平、垂直の線をビューファインダーまたは液晶画面の枠に合わせる。



- 三脚を使う。

逆光を避ける。

太陽を背にして、被写体の正面に光が当たるようにします。

必ずお読みください

別売りのアクセサリーキットについて

本機をお使いになるには、別売りのアクセサリーキットが必要です。お持ちでない場合は、お買い求めください。詳しい内容については、アクセサリーキットの取扱説明書をご覧ください。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません。

万一、ビデオカメラレコーダーなどの不具合により録画や再生がされなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

本書内の写真について

ビューファインダーや液晶画面の映像を説明するのに、スチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

目次

はじめに

撮る

見る

使いこなす

撮影

再生

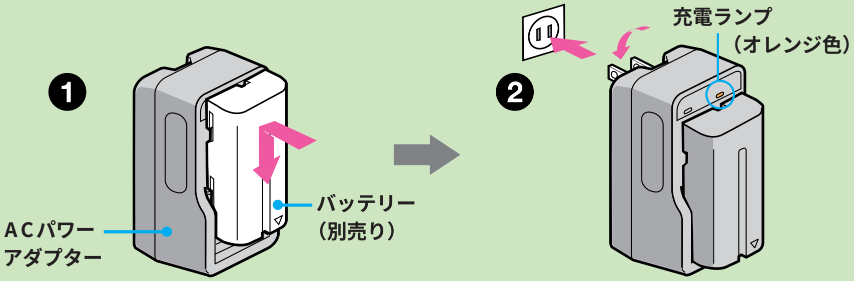
編集

その他

ご注意など

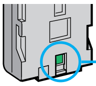
準備1 バッテリーを充電する

バッテリーの充電には別売りの充電器が必要です。
ここではACパワーアダプターAC-V615を使った例を説明します。
別売りのACパワーアダプターの取扱説明書もあわせてご覧ください。



バッテリーについて

- バッテリーには充電確認マークがついています。充電後に「■」側にする習慣にしておくと、ひと目で充電済みかどうかわかり便利です。



ACパワーアダプターにつけて充電したときは自動的に「■」側になります。

- 本体にバッテリーを入れたまま充電する→47ページ

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは

インフォリチウムバッテリーに対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能を持った新しいタイプのリチウムイオンバッテリーです。本機はインフォリチウムバッテリー対応です。インフォリチウムバッテリーNP-F530で使えます。
InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。

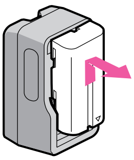
1 バッテリーを押しながら下にずらしてつける。

2 コンセントにつなぐ。

充電が始まると、充電ランプが点灯する。
充電が終わると消える（**実用充電**）。さらに約1時間充電すると若干長く使えます（**満充電**）。

充電器から取りはずす

バッテリーを上にずらす。

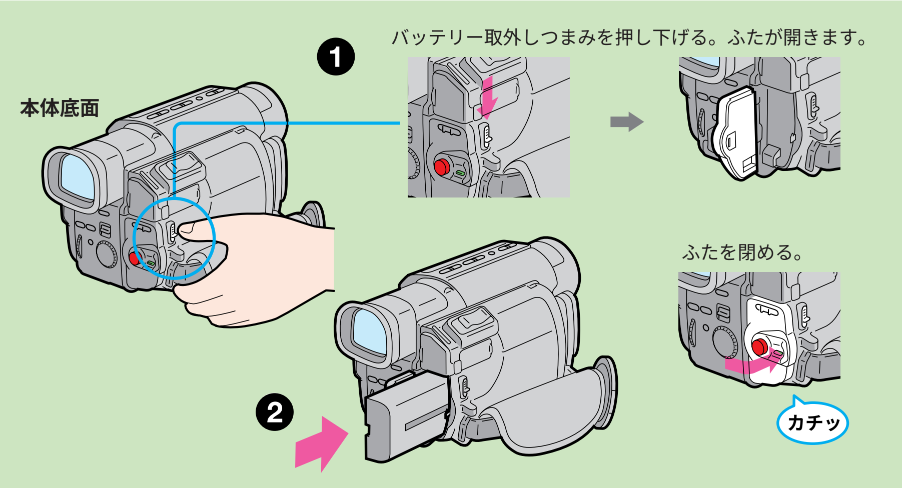


充電時間

バッテリー	満充電時間（実用充電時間）
NP-F530	約170分(約110分)
NP-510	約160分(約100分)

使い切ったバッテリーをAC-V615で充電したときの時間です。

準備2 バッテリーを本体に入れる



誤動作を防ぐために
バッテリーを出し入れするときは必ず電源スイッチを「切」にしましょう。

撮影中のバッテリー残量時間表示
バッテリーパックNP-F530をお使いのときは、あと何分連続撮影で使えるかを画面に表示します。使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。液晶パネルを閉じたときは、開いてから正しい残量時間（分）を表示するのに約2分かかります。

バッテリーを取り出すときは
バッテリー落下防止のため、ふたを上にして取り出してください。

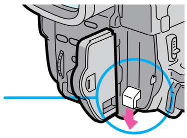
* 録画、スタンバイ、電源入/切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間の目安。実際にはこれよりも短くなることがある。
** 常温で撮影したときの時間

❶ ふたを開ける。

❷ バッテリーを入れ、ふたを閉める。

本体から取り出す

ふたを開け、取り外しツメを下げて取り出す。



使用時間

ビューファインダー使用時

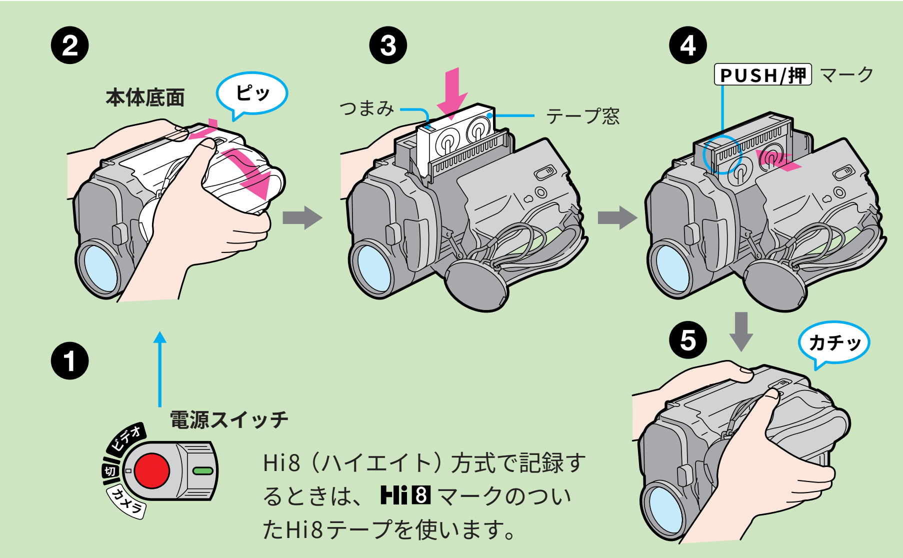
バッテリー	実撮影時*	連続撮影時**
NP-F530	約80(70)分	約135(120)分
NP-510	約75(70)分	約125(115)分

液晶画面使用時

バッテリー	実撮影時*	連続撮影時**	再生時
NP-F530	約55(50)分	約95(85)分	約90(80)分
NP-510	約55(50)分	約90(80)分	約85(75)分

(　) 内は実用充電してから、それ以外は満充電してから使用したときの時間です。

準備3 カセットを入れる



ご注意

・カセット入れを無理に下げないでください。故障の原因になります。
・カセット入れに指をはさまないようにご注意ください。
はさまれたときは、約2秒後に自動的にカセット入れが開きます。

誤動作を防ぐために
カセットを出し入れするときは必ず電源スイッチを「切」にしましょう。

❶ 電源スイッチが「切」になっていることを確認する。

❷ **開く/カセット取り出しつまみをずらしながら開ける。**
カセット入れが自動的に上がって開く。

❸ **カセットを入れる。**
テープ窓を外側に、つまみを上側にして入れる。

❹ **PUSH/押 マークを押してカセット入れを閉める。**
カセット入れが自動的に下がる。

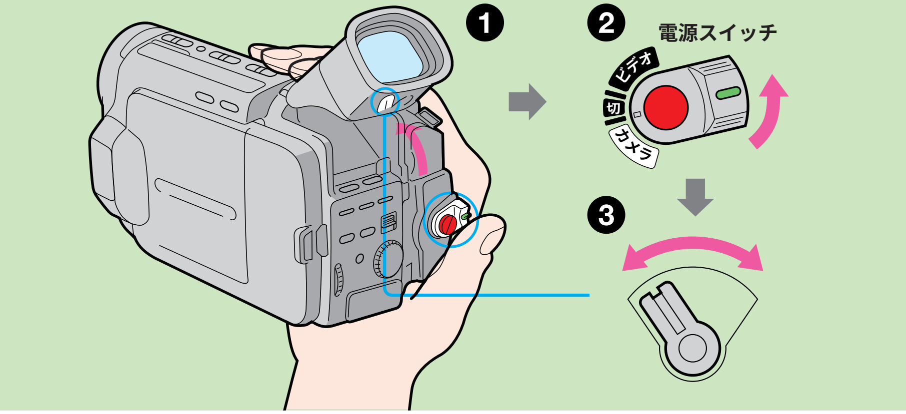
❺ **ふたを閉める。**

カセットを取り出す

「カセットを入れる」の手順で操作し、手順3で取り出す。

準備4 ファインダーを調節する

ファインダーの画像がはっきり見えないとき、自分の視力に合わせて調節します。



眼鏡をかけている方や画面の四隅が見えないときは
アイカップを折り返してお使いください。

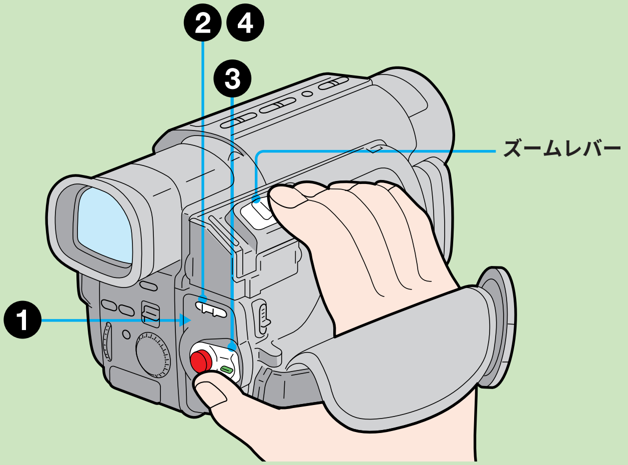
❶ ファインダーを持ち上げる。

❷ 電源スイッチを「カメラ」にする。

❸ 視度調節つまみを動かす。
ファインダーの文字がはっきり見えるようにする。

撮影する

ピント合わせも自動で、簡単に撮影できます。



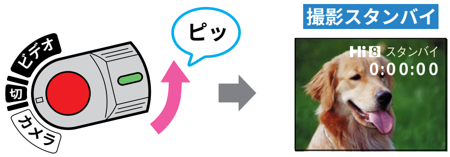
ご注意

液晶画面、ビューファインダーやレンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

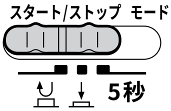
テープの最初から撮影するときは
15秒ほど撮影してから本番の撮影をすることをおすすめします。テープの一番初めから撮影すると、他の再生機では初めの部分が欠けることがあります。

❶ バッテリーなどの電源を付け、カセットを入れる。
「準備1〜3」(8〜10ページ)をご覧ください。

❷ **緑のボタンを押しながら「カメラ」にする。**
撮影スタンバイになる。



❸ **スタート/ストップモードつまみを ⩡ にする。**
(お買い上げ時は ⩡ になっています。)



テープカウンターを「0：00：00」にするときは
カウンターリセットボタンを押します。

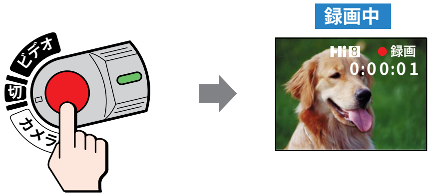
ファインダーから顔を離すと
自動的にファインダーの画像が消えますが、録画や再生などは引きつづき行われています。これはバッテリーの消耗を防ぐためです。ファインダーの画像を常につけておくこともできます。（49ページ）

太陽光や白熱灯の下では
ファインダーの画像が消えない場合もあります。

撮影スタンバイ状態が5分以上続くと
自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するためです。再び撮影をはじめるには電源スイッチを一度「切」にしてから「カメラ」に戻します。

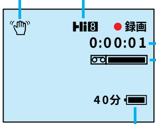
❹ スタート/ストップボタンを押す。

撮影が始まる。
もう一度押すと止まります。



撮影中の表示

これらの表示はテープには記録されません。（ファインダーと液晶画面に同じ表示が出ます。）



手振れ補正「入」のときに出る。(33ページ)

ハイエイト表示
Hi8 (ハイエイト) 方式のときに出る。

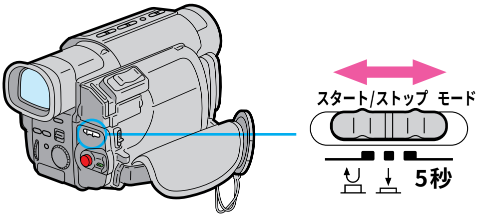
テープカウンター

テープ残量表示（70ページ）
カセットを入れて、しばらくテープを走行させると出る。

バッテリー残量表示（70ページ）
分表示はバッテリーパックNP-F530を使っているときのみに出る。

撮影する（つづき）

スタート/ストップモードを選ぶ



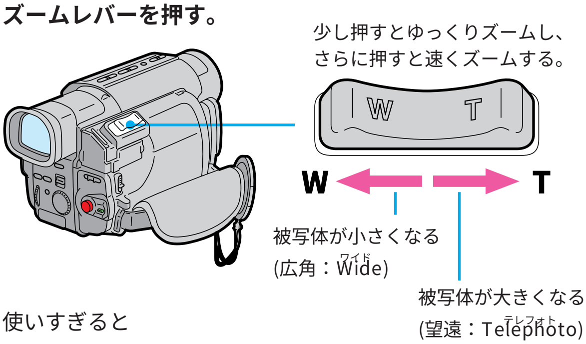
⏏︎：スタート/ストップボタンを押すと撮影が始まり、再び押すと止まります（お買い上げ時の設定）。

⊥：スタート/ストップボタンを押している間のみ撮影し、離すと止まります。

5秒：スタート/ストップボタンを押すと5秒間撮影して止まります。

ズームする

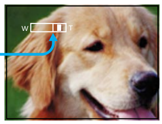
ズームレバーを押す。



使いすぎると
見づらい作品になります。

10倍を超えるズームはデジタルズームになります。

このラインよりT側が
デジタルズームになります。



きれいなつなぎ撮りのために
カセットを取り出さない限り電源を切っても撮影した場面はきれいにつながります。
バッテリーの交換は電源を切ってから行えば、きれいなつなぎ撮りができます。

スタート/ストップモードで「5秒」を選んだとき
画面に「・・・・・」が出て1秒たつごとに・が1つずつ消えます。撮影時間を延長するには・がすべて消えてしまわないうちに、もう1度スタート/ストップボタンを押します。押したときからまた約5秒間撮影されます。

近くのものにピントがうまく合わないときは
ズームレバーをW側に動かして広角にします。
ピントが合うのに必要な被写体との距離は、W側では約1cm以上、T側では約100cm以上です。

デジタルズームについて
- デジタルズームを使うと、ズーム倍率は20倍までになります。
- 画像をデジタル処理するため画質が低下します。デジタルズームを使う必要がないときは、メニューで「デジタルズーム」を「切」にすると、気付かないうちにデジタルズームになるのを防ぎます（48ページ）。

ご注意

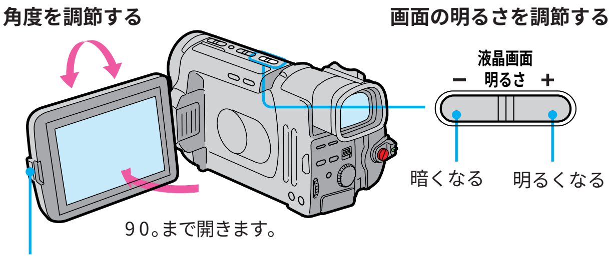
- 液晶画面を開いているときはファインダーには画像が映りません。ただし、対面撮影中はファインダーにも画像が映ります。
- 液晶画面やビューファインダーは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、赤と青、緑の点が消えないことがあります。故障ではありません。（有効画素99.99%以上）これらの点は、テープに記録されません。
- 屋外では日差しの加減で液晶画面が見えにくいことがあります。

撮影が終わったら

1 電源スイッチを「切」にする
2 カセットを取り出す。
3 バッテリーを取り出す。

液晶画面を見ながら撮影する

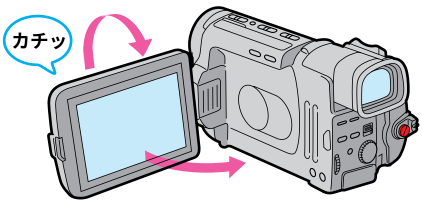
液晶ロック解除ボタンを押しながら、液晶画面を開く。



前方向に210。まで、手前90。まで回転します。

液晶画面を閉じる

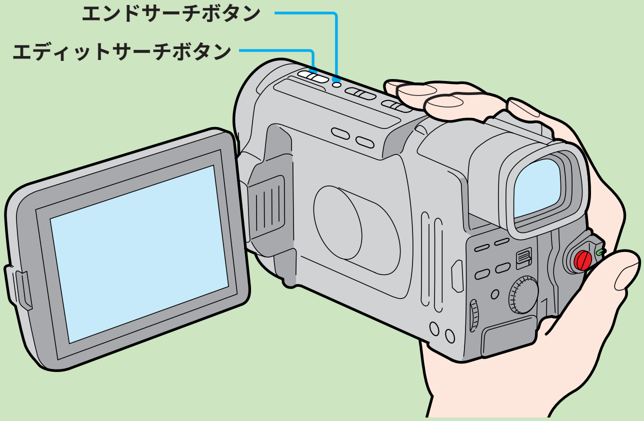
液晶画面をカチッというまで垂直にしてから本体に戻す。



撮る

撮影内容を確認する

撮った画面が気になるときや、最後に撮影した画面からつなぎ撮りしたいときに使います。



ご注意

エンドサーチをしてからつなぎ撮りをすると、まれに場面がきれいにつながらないことがあります。

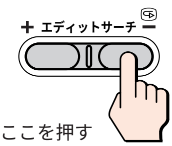
次のとき、エンドサーチ機能は働きません
撮影後、カセットを取り出したとき

エンドサーチとは？
本機では、撮影後にカセットを取り出すまで最後に撮影を終えたテープの位置を記憶しています。エンドサーチはこの位置を探す機能です。

最後の画面を確認する−レックレビュー

[撮影スタンバイ中] に、**エディットサーチボタンを、ポンと1回押す。**

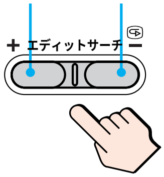
最後に撮影した場面が数秒間出て、撮影した最後の場面で再び撮影スタンバイに戻る。（スピーカーまたはヘッドホンで音も確認できます。）



正方向または逆方向に再生する −エディットサーチ

[撮影スタンバイ中] に、**エディットサーチボタンを押し続ける。**

指を離したところが、次の撮影開始点になる。（音は出ません。）



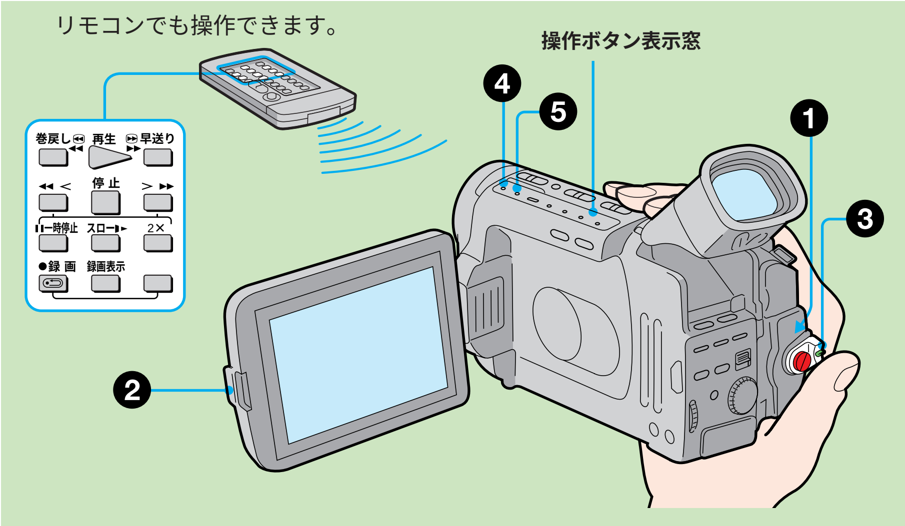
最後に撮影した部分に戻る。−エンドサーチ

[撮影スタンバイ中] に、**エンドサーチボタンを押す。**

最後に撮影した終わりの約5秒間が再生されて止まる。



再生する



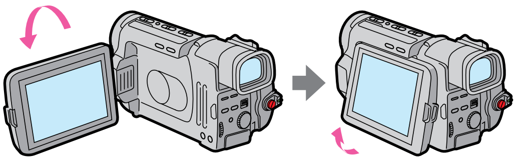
ご注意

外国製のビデオソフトのなかには、カラーテレビ方式が異なるため本機で再生できないものもあります。

❶ バッテリーなどの電源を付け、再生したいカセットを入れる。

❷ **液晶画面を開ける。**

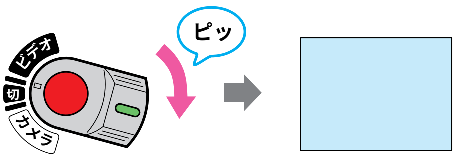
液晶画面を外側に向けて本体に閉じることもできます。



180°回転させる。

閉じて、角度を調節する。
15°まで回転します。

❸ **緑のボタンを押しながら「ビデオ」にする。**



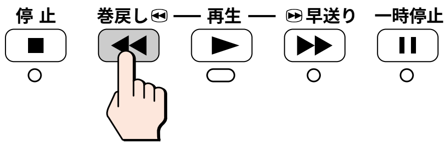
操作ボタン表示窓が点灯する。

次のページへつづく

再生する（つづき）

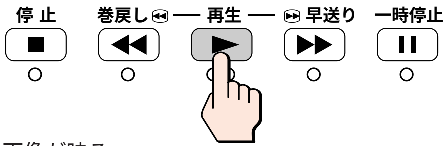
液晶画面を閉じると
スピーカーから音が出ません。液晶画面を外側に向けて閉じているときは音が出ます。

4 **◀◀巻き戻しボタンを押す。**



巻き戻しが始まる。

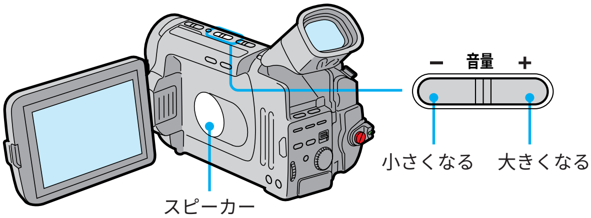
5 **▶再生ボタンを押す。**



画像が映る。

音量を調節する

本体の音量＋/ミボタンを押して調節する。

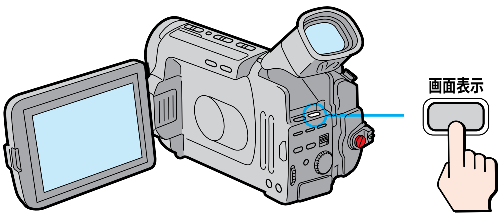


カウンターなどの表示を出すー画面表示機能

本体またはリモコンの画面表示ボタンを押す。

液晶画面に表示が出ます。

消すときは、もう1度押します。



再生中の音声は
ふつうの再生時以外は音声は出ません。

一時停止（静止画）について
・画像にノイズが出ることがありますが、故障ではありません。
・5分以上続くと自動的に停止状態になります。再生するときは、もう1度►再生ボタンを押します。

スロー再生について
1分以上続くと自動的にふつうの再生に戻ります。

エンドサーチとは？
本機では、撮影後にカセットを取り出すまで最後に撮影を終えたテープの位置を記憶しています。エンドサーチはこの位置を探す機能です。
撮影後、カセットを取り出していないときに限り、エンドサーチが働きます。

*クリスタルスチル/クリスタルピクチャーサーチ/クリスタルスローでは液晶画面でのノイズを軽減します。

いろいろな再生

止める
[再生中] ■停止ボタンを押す。

静止画を見る（クリスタルスチル*）
[再生中] ❚❚一時停止ボタンを押す。もう1度押すか、►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

早送りする
[再生中] ■停止ボタンを押し、►►早送りボタンを押す。
►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

巻き戻す
[再生中] ■停止ボタンを押し、◄◄巻き戻しボタンを押す。
►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

逆方向に再生する
リモコンの＜ボタンを押す。
►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

ひとコマづつ画像を見る（コマ送り再生）
一時停止中にリモコンの❚❚►（コマ送り）または◄❚❚（コマ送り）ボタンを押す。►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

2倍速で画像を見る（倍速再生）
再生中にリモコンの×2ボタンを押す。
逆方向に倍速再生するときは、リモコンの＜を押してから×2ボタンを押す。►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

画像を見ながら早送り/巻き戻しする（クリスタルピクチャーサーチ*）
[再生中] ►►早送りボタン/◄◄巻き戻しボタンを押し続ける。離すと、ふつうの再生に戻る。

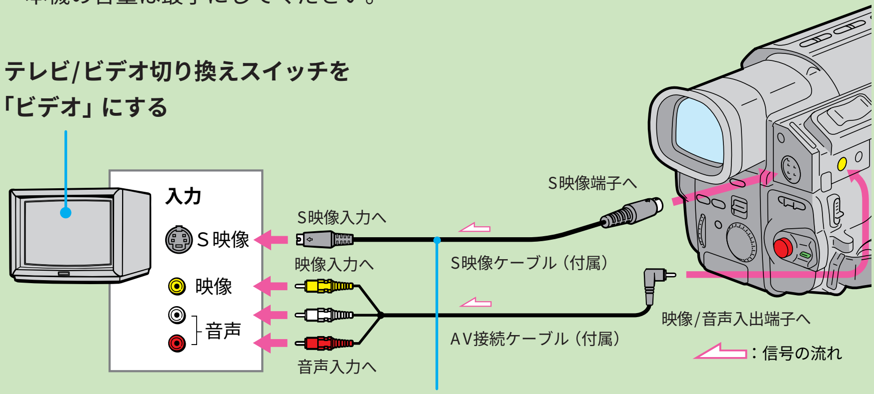
早送り/巻き戻し中に画像を見る（高速アクセス）
[早送り中] または [巻き戻し中] ►►早送りボタン/◄◄巻き戻しボタンを押し続ける。離すと、早送りまたは巻き戻しに戻る。

スロー画を見る（クリスタルスロー*）
[再生中] リモコンの❚►スローを押す。
►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

最後に撮影した部分を探す（エンドサーチ）
[停止中] エンドサーチボタンを押す。最後に撮影した終わりの部分を約5秒間再生して止まる。

テレビで見る

撮影したテープなどをテレビで見るときは、本機に付属のAV接続ケーブルを下の図のようにつなぎます。再生のしかたは液晶画面で見るときと同じです。本機の音量は最小にしてください。



テレビにS映像端子がついている場合、S映像端子を使うと再生画像がより鮮明になります。
（S映像端子と接続したときはAV接続ケーブルの黄色い映像端子は接続不要です。）

すでにテレビにビデオがつながっているとき

本機をビデオの外部入力端子につなぐ。

ビデオの入力切り換えスイッチは「外部入力（ライン）」にしてください。

音声入力端子がひとつ（モノラル）のテレビにつなぐとき

AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぐ。

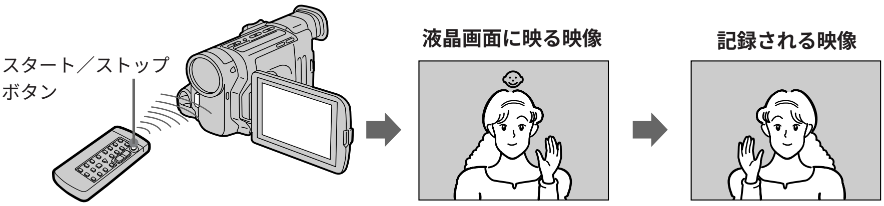
音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が聞こえます。

モノラル音声でお聞きになりたいときは別売りの接続コードRK-C165をお使いください。

液晶画面を見せながら撮る－対面撮影

自分を撮ったり、固定して大勢で撮ったりするときに液晶画面を180。反転させると液晶画面と向かいあって撮影できます。

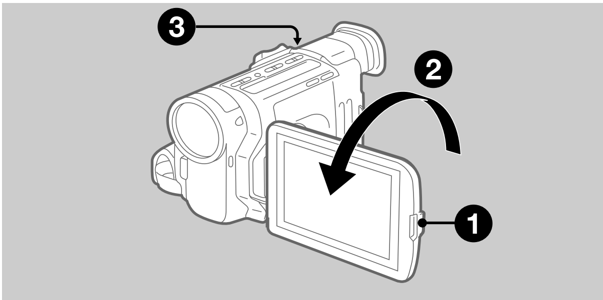
液晶画面に映る画像は鏡のように左右が反転しますが、記録される映像は実際の被写体と同じです。



対面撮影中は
以下の機能は働きません。
・ メニュー
・ タイトル
・ 日付・時刻
・ カウンターリセット

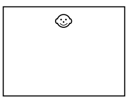
対面撮影中の表示
・ 撮影スタンバイ中は❚❚●、撮影中は●が表示されます。
・ エンドサーチ表示、フェーダー表示は左右が反転します。
・ ピクチャーエフェクトとワイドの文字は表示されません。
・ インフォリチウムバッテリーNP-F530を使っていても、分単位のバッテリー残量は表示されません。

対面撮影時のバッテリーの使用時間は
液晶画面を使っての撮影時間（9ページ）より若干短くなります。



1 [撮影スタンバイ中] に
液晶ロック解除ボタンを押しながら、液晶画面を開ける。

2 **液晶画面を180°回転させる。**
対面撮影モード表示 ☺ が出る。



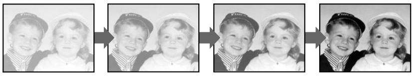
3 **撮影する。**
リモコンを使うと便利です。（66ページ）

使いこなす

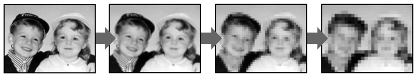
フェードイン・フェードアウトする

白画面やモザイク画面から徐々に画像と音を出したり（フェードイン）、逆に徐々に消したり（フェードアウト）する演出ができます。

例：白画面からのフェードイン



例：モザイク画面へのフェードアウト



こんなときに使うと効果的です

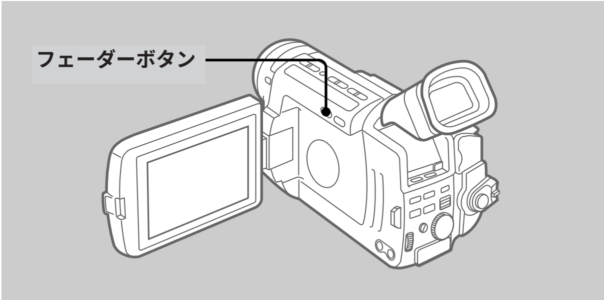
・ 大きな場面転換（フェードアウト・フェードイン）
・ 物語の始めなど（フェードイン）
・ 一日の終わりなど（フェードアウト）
・ 余韻を残して終わる（フェードアウト）

フェードを多用すると
被写体の状況が わかりづらくなり、見づらい映像になります。

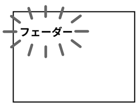
日付や時刻表示にはフェードは働きません
不要の場合は日付、時刻表示を消してから行ってください。

フェード中は
タイトルを入れられません。また、タイトル表示中はフェードイン・フェードアウトはできません。

スタート/ストップモードつまみが ⊥ か5秒のとき
フェードイン・フェードアウトはできません。



❶ ・フェードインは [撮影スタンバイ中] に
・フェードアウトは [撮影中] に
フェーダーボタンを押して希望のフェーダー表示を出す。



押すたびに変わります。
フェーダー→モザイクフェーダー
→（表示なし）

❷ **スタート/ストップボタンを押す。**

フェーダー表示が点滅から点灯に変わり、フェード終了後に消える。フェードイン、フェードアウトはフェード終了後に自動的に解除される。

フェードイン・フェードアウトを解除する

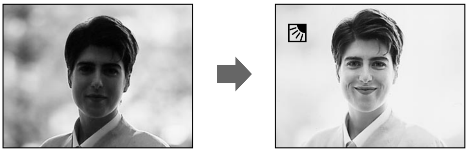
フェード終了後：自動的に解除される。

フェード前：スタートストップボタンを押す前に再度フェーダーボタンを押し、液晶画面の表示を消す。

逆光を補正する

逆光のときは背景が明るすぎて被写体が暗めになるので、明るさ補正をして撮ります。

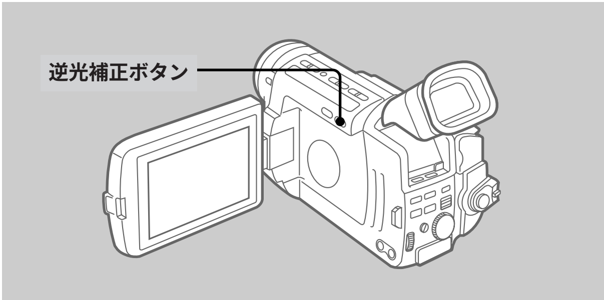
いつ使う？ 被写体の背後に光源があり、被写体が暗く映るときなど。



次の場合にも、逆光の補正をすると効果的です

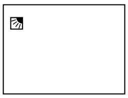
- 画面の中に強い光を発するものがあるとき
- 白い服を着た人物が白い壁の前にいるとき

明るさボタンを押すと、逆光補正は解除されます。



逆光補正ボタンを押す。

逆光補正表示が出る。



被写体の明るさが補正される。

逆光補正を解除する

逆光補正ボタンをもう1度押して、逆光補正表示を消す。

目的に合わせて撮る ミ プログラムAE

被写体や撮影状況により適した調節を自動的に行います。



スポットライトモード
舞台や結婚式など、強い光が当たっている被写体を撮影するときに人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。



ビーチ&スキーモード
真夏の砂浜や、冬山（スキー場）などの照り返しが強い場所で撮影するときに人物の顔などが暗くなるのを防ぎます。



ソフトポートレートモード
人物、花などを撮影するときに背景をぼかして被写体を引き立てると同時に、ソフトな印象の映像になるようにします。また肌色がきれいになるようにします。



サンセット&ムーンモード
夕焼け、夜景、花火、ネオンサインを撮影するときに、雰囲気を損なわずに再現します。



スポーツレッスンモード
ゴルフ、テニスなどの速い動きを撮影するときに被写体のブレを少なくします。

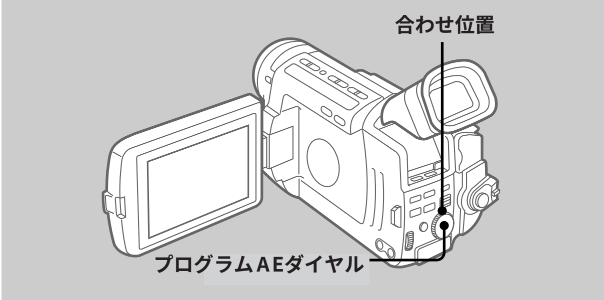


風景モード
山などの遠くの景色を撮影するときに景色をはっきりさせます。また、風景を窓ガラスや金網越しに撮影するときに、手前のガラスや金網にピントが合うのを防ぎます。

ご注意

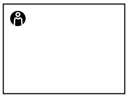
- 次のモードでは近くのもの（50cm以内）にピントが合わないようにフォーカスを制御します。
  - －スポットライトモード
  - －スポーツレッスンモード
  - －ビーチ＆スキーモード
- 次のモードでは遠景（10m以上）のみにピントが合うようにフォーカスを制御します。
  - －サンセット＆ムーンモード
  - －風景モード

プログラムAEモードで撮影しているときにも
明るさを調節できます。



[撮影スタンバイ中] または [撮影中] に
プログラムAEダイヤルを回して希望のモード記号を本体の合わせ位置に合わせる。

プログラムAEモード表示が出る。



プログラムAEダイヤルについているものと同じ表示が出ます

自動調節に戻すとき

プログラムAEダイヤルの●を本体の合わせ位置に合わせる。

プログラムAEモード表示が消える。

使いこなす

撮影中に手動で日時を記録する

日付・時刻を画像にかさねて記録します。あらかじめ10秒ほど黒画面を背景に日時のみを記録し、本番の撮影のときは日時を消しておくことをおすすめします。

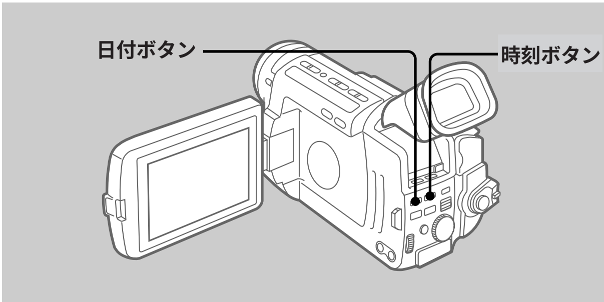
ずっと日時を入れたままにすると、再生したときに映像の邪魔になったり、編集のときに表示の日時が前後してしまったりします。



ご注意

- 日付と時刻は同時に記録できません。
- タイトルと日付または時刻は、同時に記録できません。
- 一度記録した日時は消せません。

「ワイド シネマ」で撮影中は
日付や時刻を表示すると、日付、時刻、バッテリー残量の表示が上にあがります。



[撮影中] に
日付を入れる →日付ボタンを押す。
時刻を入れる →時刻ボタンを押す。

表示を消すとき

もう1度押す。

タイトルを入れる

撮影中にタイトルを入れることができます。あらかじめ記憶している8種類のタイトルと2種類の自分で作ったタイトルの中から内容にあったものを選べます。（タイトルを作る 29ページ）

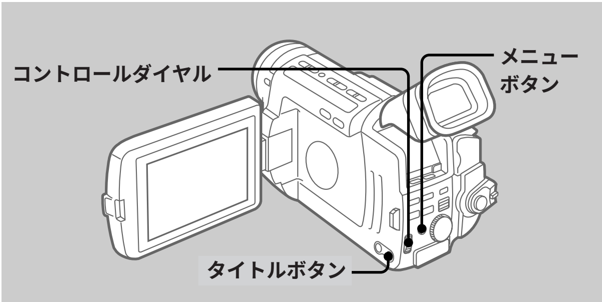


タイトルの種類
タイトルボタンを押すたびに次のタイトルが順に表示されます。「自分で作ったタイトル」は作っていないときには表示されません。
・ 自分で作ったタイトル１
・ 自分で作ったタイトル2
・ 入学式
・ 卒業式
・ たんじょうび
・ 運動会
・ 発表会
・ 夏休み
・ 祝
・ 完
「完」のあと一回タイトル表示がなくなり、はじめにもどります。

タイトルの選択は
撮影中にはできません。

タイトル表示中は
フェードイン・フェードアウトできません。また、フェード中はタイトルを入れられません。

タイトルと日付・時刻は
同時に記録できません。



撮影の始めから入れるとき

❶ [撮影スタンバイ中] に
タイトルボタンを繰り返し押して、出したいタイトルを表示させる。
点滅から点灯に変わると決定です。

❷ **撮影を始める。**

❸ **タイトルを消したいところでタイトルボタンを押す。**
タイトル表示が消える。

使いこなす

タイトルを入れる（つづき）

タイトルを入れて撮影しているときは
メニュー画面を出すと、メニュー画面が出ている間はタイトルが記録されません。

ビューファインダーを使って撮影しているときは
液晶画面を少し開いてタイトルボタンを押してください。

撮影の途中でタイトルを入れるとき

❶ [撮影スタンバイ中] に
タイトルボタンを繰り返し押して、出したいタイトルを表示させる。

❷ **タイトルが点滅から点灯に変わったら、タイトルボタンを押してタイトルを消す。**

❸ **撮影を始める。**

❹ **タイトルを入れたいところでタイトルボタンを押す。**

❺ **タイトルを消したいところでタイトルボタンを押す。**

タイトルの色を変える

1 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

2 コントロールダイヤルを回して「タイトル色」を選び、コントロールダイヤルを押す。

3 コントロールダイヤルを回して好きな色を選び、コントロールダイヤルを押す。しろ、きいろ、むらさき、あか、みずいろ、みどり、あおから選べます。

タイトルの位置を変える

1 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

2 コントロールダイヤルを回して「タイトル位置」を選び、コントロールダイヤルを押す。

3 コントロールダイヤルを回して「センター」か「下」を選び、コントロールダイヤルを押す。



「センター」のとき



「下」のとき

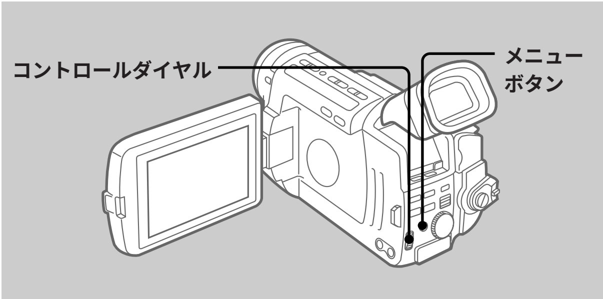
タイトルを作る

自分で10文字以内のタイトルを作って2種類まで本機に記憶できます。

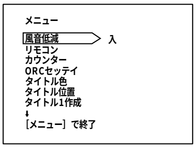
タイトル作成に5分以上かかるとき
カセットが入っていて撮影スタンバイが5分以上続くと、自動的に電源が切れます。5分以上かかりそうなときはカセットを取り出しておけば電源は切れません。電源が切れたときは一度電源スイッチを「切」にしてから「カメラ」にします。それまでに作成したタイトルは残っています。

あきを作りたいときは
空白を選びます。空白は一文字分となります。

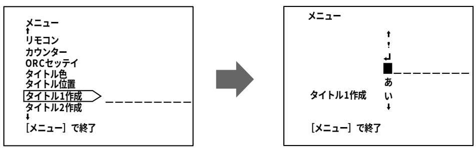
作ったタイトルが10文字になると
その時点でタイトルが記憶されます。



❶ [撮影スタンバイ中] に
メニューボタンを押してメニュー画面を出す。



❷ **コントロールダイヤルを回して「タイトル1作成」または「タイトル2作成」を選び、コントロールダイヤルを押す。**



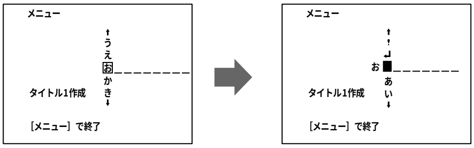
使いこなす

次のページへつづく

タイトルを作る（つづき）

❸ コントロールダイヤルを回して希望の文字を選び、コントロールダイヤルを押す。

次の文字に移ります。



ひらがな→数字→アルファベット→ ミ？！↵ □（空白）

の順に出ます。

❹ 手順3を繰り返して希望のタイトルを作る。

❺ コントロールダイヤルを回して ↵ を選び、コントロールダイヤルを押す。

タイトルが記憶される。

❻ メニューボタンを押して、メニュー画面を消す。

作成したタイトルを消す

1 **メニューボタンを押して、消したいタイトルを選び、決定ボタンを押す。**

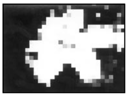
2 **左端の文字で ↵ を選び、決定ボタンを押す。**
空白を選んで消さないでください。空白のタイトルとして記憶されます。

作成したタイトルを変更する

メニューボタンを押して、変更したいタイトルを選び、コントロールダイヤルを押す。作成するときと同じ手順で文字を選び直す。

画像に特殊効果を加える – ピクチャーエフェクト

画像にデジタル処理をして、テレビや映画のような特殊効果を加えられます。



モザイク
→タイルを組み合わせたように



パステル
→淡い色のパステル画のように



ソラリ
→明暗を際だたせたイラストのように



スリム
→縦に引き伸ばしたように



ネガアート
→色・明暗が反転した写真のネガフィルムのように

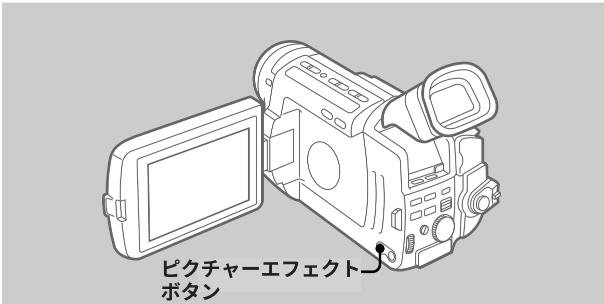


ストレッチ
→横に引き伸ばしたように

モノトーン　→白黒に

セピア　→古い写真のような色合いに

電源スイッチを「切」にすると
ピクチャーエフェクトは自動的に解除されます。



[撮影スタンバイ中] に、**ピクチャーエフェクトボタンを押して希望のエフェクトモード表示を出す。**

モザイク	押すたびに変わります モザイク→ソラリ→モノトーン→セピア→ネガアート→パステル→スリム→ストレッチ→（表示なし）

普通の画像に戻す

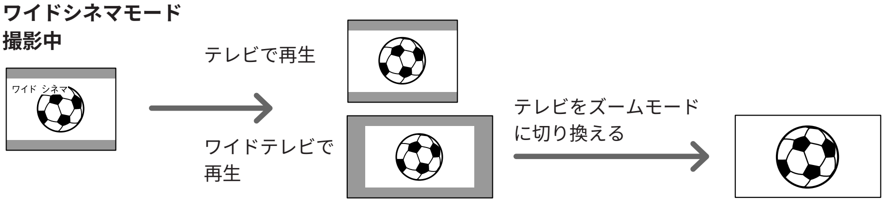
ピクチャーエフェクトボタンを繰り返し押して、エフェクトモード表示を消す。

横長の画面にする – ワイドTVモード

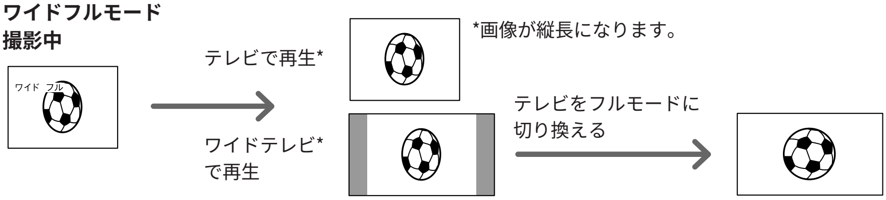
再生したときに横長の画面になるように撮影します。接続するテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

いつ使う?
- ワイドテレビで画面いっぱいに映るようにしたいとき
- ふつうのテレビで上下に黒い帯を入れて横長の画面にしたいとき

ワイドシネマモード
撮影中



ワイドフルモード
撮影中



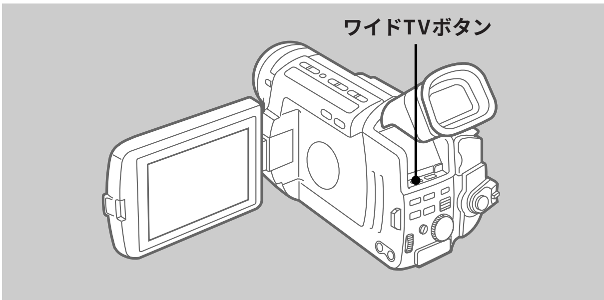
電源をはずして5分以上たつと
ワイドTVモードは解除されます。

「ワイドフル」を選ぶと
手振れ補正は働きません。手振れ補正が働いているときに「ワイドフル」を選ぶと(手振れ補正マーク)が点滅し、手振れ補正は働かなくなります。

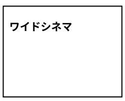
日付・時刻表示は
「ワイドフル」で記録すると、ワイドテレビで見る場合は横長の字になります。

ビデオIDシステム（ID-1）方式対応のテレビに接続すると
「ワイドTVモード」にして記録した画像が再生されると、自動的にズームモードかフルモードに切り換わります。

録画中は
ワイドTVモードを選んだり、解除したりできません。



[撮影スタンバイ中] に、**ワイドTVボタンを押して、希望のワイドTVモード表示を選ぶ。**



押すたびに変わります
ワイドシネマ→ワイドフル→（表示なし）

ワイドTVモードを解除する

ワイドTVボタンを押して、ワイドTVモード表示を消す。

手振れ補正を解除する

手振れ補正はハンディカムを手に持って撮るときに効果があります。

三脚に取り付けるなど手振れの心配がないときは、手振れ補正を「切」にしたほうが自然な画像になります。

ご注意

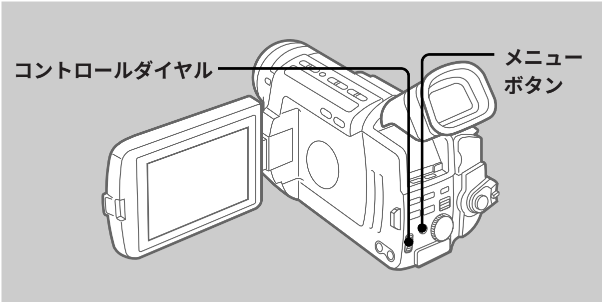
手振れ補正が「入」になっていても、手振れが大きすぎると、補正されないことがあります。

手振れ補正を解除しているときは

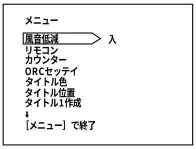
手振れ補正表示(手)が出ません。

ワイドモードを「ワイドフル」にして撮影すると

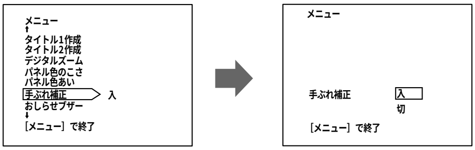
手振れ補正は働きません。



1 [撮影スタンバイ中] に、**メニューボタンを押し、メニュー画面を出す。**



2 コントロールダイヤルを回して「手振れ補正」を選び、コントロールダイヤルを押す。



3 「切」を選び、コントロールダイヤルを押す。

4 メニューボタンを押して、メニュー画面を消す。

手振れ補正を働かせるときは

手順3で「入」を選び、コントロールダイヤルを押す。

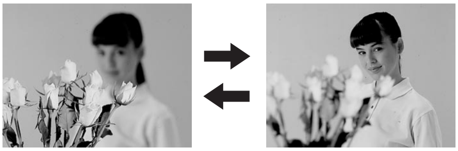
使いこなす

手動でピントを合わせる

撮影状況に応じて、手動でピントをあわせることができます。

いつ使う?

・自動ではピントが合いにくいとき
・三脚を使って静止した被写体を撮るのにピントを固定したいとき
・手前の花から後方の人物へと、意図的にピントの合う位置を変えたいとき



こんなときに使うと効果的です

・被写体が水滴のついた窓ごしにあるとき
・被写体が横じまだけのもののとき
・被写体と背景とのコントラストが低いとき

このようなときには自動でピントが合いにくいことがあります。

ズームのときにもピントがずれないようにするには

ズームをT側（望遠）にしてからピントを合わせます。ただし、デジタルズームを使用するとピントが合わせにくくなります。

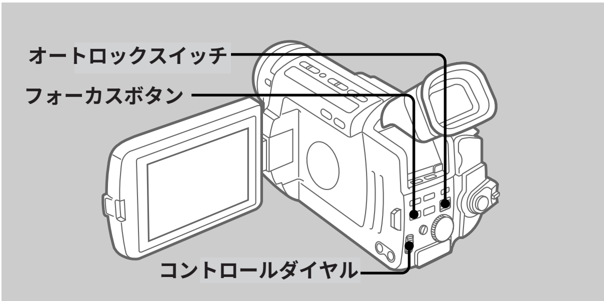
近づいて大きく撮るときは

ズームをW側（広角）いっぱいにしてピントを合わせます。

次のようなときには

手動ピント合わせをしたあと、なるべくW側（広角）で撮ります。

・暗い室内で撮るとき
・明るい野外で動きの激しいものを撮るとき



❶ ［撮影スタンバイ中］または［撮影中］に
オートロックスイッチを下げる。

❷ **フォーカスボタンを押す。**

手動ピント合わせ表示が出る。

❸ **コントロールダイヤルを回し、ピントを合わせる。**

自動調節に戻すとき

フォーカスボタンを押して、表示を消す。またはオートロックスイッチを上げる。

画像の明るさを調節する

画像のお好みの明るさに手動調整し、固定することができます

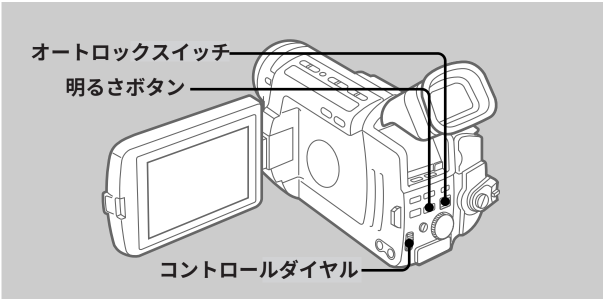
いつ使う?
・逆光補正を細かく行いたいとき
・背景に比べて、被写体が明るすぎるとき、など。

明るさ調節をしているときは
逆光補正は働きません。

明るさを手動調節しているときに
プログラムAEダイヤルを回すと明るさ調節は自動に戻ります。

明るさを自動調節しているときは
被写体がはっきり映るように調節するため、実際よりも明るく映ることがあります。

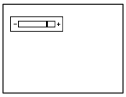
コントロールダイヤルは
両方向へ回ります。回転が止まる位置はありません。



❶ [撮影スタンバイ中] または [撮影中] に**オートロックスイッチを下げる。**

❷ **明るさボタンを押す。**

明るさ表示が出る。



❸ **コントロールダイヤルを回し、明るさを調節する。**

自動調節に戻すとき

明るさボタンを押して、明るさ表示を消す。またはオートロックスイッチを上げる。

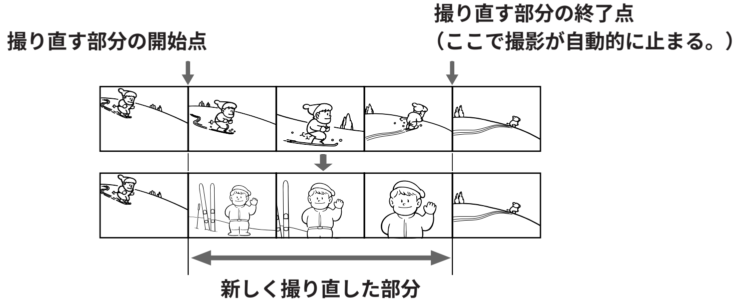
使いこなす

ある部分だけ撮り直す

撮影した画像の一部分だけをあとで取り直すことができます。ファインダーを見ながら、撮り直したい部分の始め（開始点）と終わり（終了点）を決めて、その部分だけ新しく取り直します。

リモコンでのみ操作できます。

メニューで「カウンター」を「ノーマル」にしておきます。

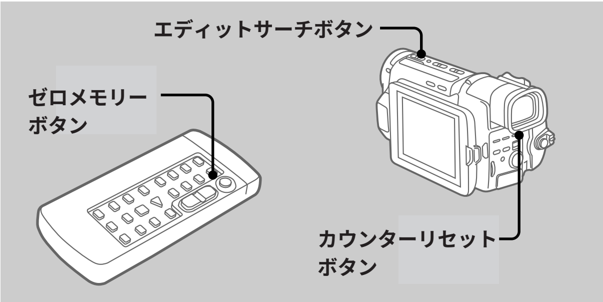


終了点の位置を変えるときは
ゼロメモリーボタンをもう1度押して、「ゼロメモリー」表示を消してから、手順1～4を繰り返します。

撮り直した部分を再生すると
終了点の画像が乱れることがありますが、故障ではありません。

途中に記録されていない部分があると
ゼロメモリー機能が正しく働かない場合があります。

スタート/ストップモードつまみが ⏚ か5秒のときは
この機能は使えません。



❶ ［撮影スタンバイ中］に
エディットサーチボタンを押し続けて、撮り直す部分の終了点で離す。

❷ **カウンターリセットボタンを押す。**
カウンター値が「0:00:00」になる。

❸ エディットサーチボタン (ミ) を押し続けて、撮り直す部分の開始点で離す。

❹ ゼロメモリーボタンを押す。

「ゼロメモリー」が点滅し、撮り直す部分の終わりの位置が記憶される。

❺ 撮影する。

撮り直す部分に新しく録画される。

カウンター値が「0:00:00」の付近で、自動的に撮影スタンバイになり、ゼロメモリーは解除される。

撮影日時を画面に出す – データコード

本機は、撮影時の日付・時刻を自動的に画像とは別にテープに記録しています（データコード機能）。

いつ使う?

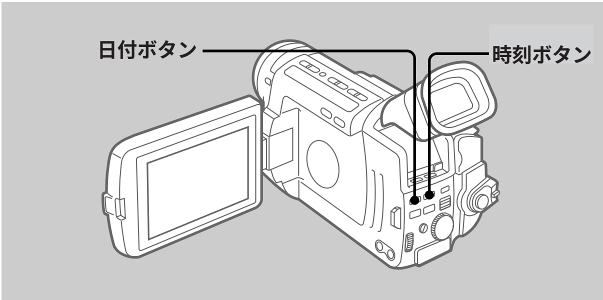
再生時に日付・時刻を出したり消したりしたいとき。

ご注意

他の8ミリビデオデッキなどでPCMアフレコを行ったり、インデックス信号を入れたり、タイムコードアフレコをしたりすると、データコードが消去されることがあります。

次のときは、---- -- --または--:--:--を表示します。

・ 何も記録されていない部分
・ テープの傷やノイズなどでデータコードを読み取れない
・ LPモードで記録されているテープ
・ 日付・時刻を合わせないで撮影したテープ
・ Hiデータコード機能が付いていないビデオカメラレコーダーで撮影したテープ
・ スロー再生などの変速再生をしている



[再生中] に

日付を出す →日付ボタンを押す。

時刻を出す →時刻ボタンを押す。

表示を消すとき

もう1度押す。

リモコンで操作する

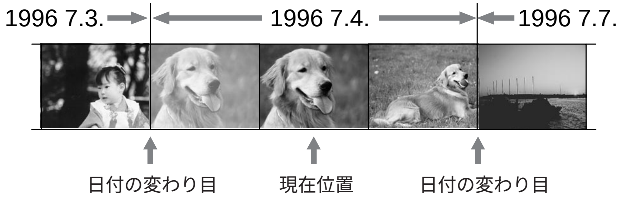
[再生中] に、データコードボタンを1度押すと日付が出る。もう1度押すと時刻が出て、さらにもう1度押すと消える。

撮影日の変わり目を探す

撮影した日付の変わり目を自動的に探し、そこから再生を始めることができます（日付サーチ）。また、日付の変わり目を次々に探し、自動的に約10秒ずつ再生することもできます（日付スキャン）。

リモコンでのみ操作できます。

いつ使う？ 撮影日の変わり目を確認したり、撮影日ごとに編集するときなど。



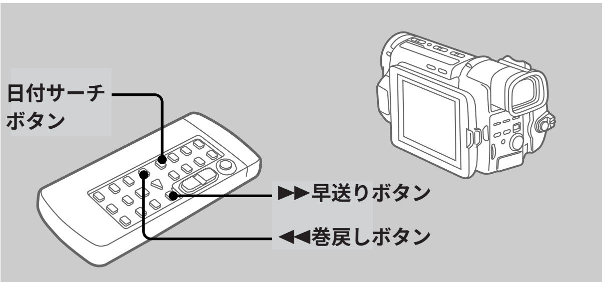
ご注意

- データコード機能のない他のビデオカメラレコーダーで撮影したテープでは、日付サーチ・日付スキャン機能は働きません。
- 日付の変更点の間隔は、2分以上必要です。間隔が短いと変わり目が正しく検出されないことがあります。
- インデックス信号の再生打ち込みや消去をすると頭出しが約10秒ずれることがあります。

途中で止めるときは
日付サーチ、□停止、◀◀巻戻し、▷再生、▶▶早送りのいずれかのボタンを押します。

再生から始めると
日付の変更点を探している間、早送り、または巻き戻しの画像が映ります。このとき、液晶画面上ではノイズが出ます。

記録済みのテープにRCタイムコードを打ち込むと
日付サーチ・日付スキャン機能は働きません。



❶ **電源スイッチを「ビデオ」にする。**

❷ [再生中] に
日付けサーチ →日付サーチボタンを1回押す。
日付スキャン →日付サーチボタンを2回押す。

❸ **巻戻し、または早送りボタンを押す。**
日付をさかのぼるときは、◀◀巻戻しボタンを、日付を進めるときは、▶▶早送りボタンを押す。
日付の変わり目で自動的に再生がはじまる。
日付スキャンの後で、通常の再生に戻るときは、▷再生ボタンを押す。

使いこなす

見たい場面にすばやく戻す – ゼロメモリー

カウンター値が「0:00:00」の地点まで巻き戻しや早送りをして、自動的に停止するようにできます。

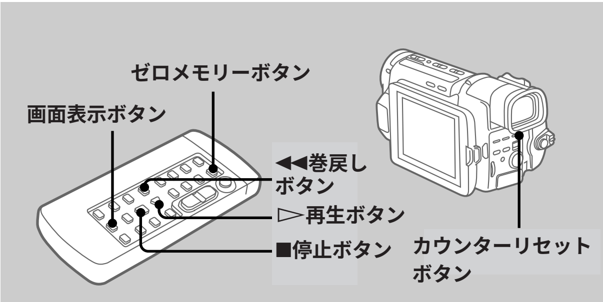
リモコンでのみ操作できます。

メニューで「カウンター」を「ノーマル」にしておきます。

いつ使う? 再生中に、後でもう一度見たいと思う場面があったときなど。

ご注意

- RCタイムコードが表示されているときは、この機能は働きません。
- 巻き戻す前にゼロメモリーボタンをもう１度押すと、ゼロメモリーが解除されます。
- カウンター値と実際の時間に多少誤差が出ることがあります。



❶ ［再生中］に、**画面表示ボタン押す。**

カウンターが表示される。

❷ **後で見たい場面でカウンターリセットボタンを押す。**

カウンター値が「0:00:00」になる。

❸ **再生し終わったら、■停止ボタンを押す。**

❹ **ゼロメモリーボタンを押す。**

ゼロメモリー表示が点滅する。

❺ **◀◀巻戻しボタンを押す。**

カウンター値が「0:00:00」の付近で自動的に停止する。

❻ **▷再生ボタンを押す。**

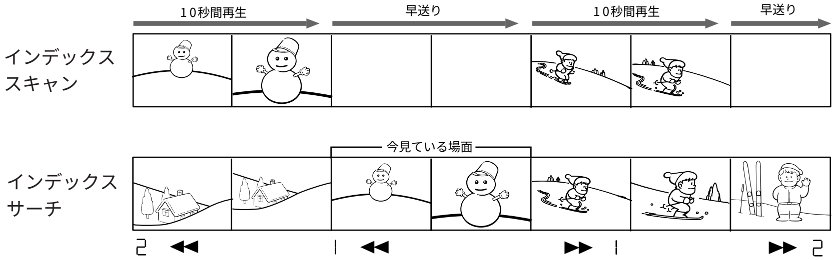
カウンター値が「0:00:00」からもう1度再生される。

各場面の頭出しをする – インデックス機能

それぞれの場面の頭に、インデックス信号を打ち込んでおけば、あとで各場面の頭出しやとばし見ができます。

リモコンでのみ操作できます。

いつ使う? 1本のテープ中で、場面がいくつも変わるときなど。

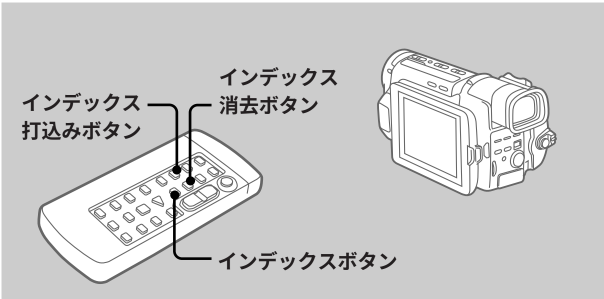


ご注意

- カセットの背の誤消去防止ツマミが赤くなっているテープには、インデックス信号が打込めません。
- **インデックス信号を正しく検出するために**
  - ミ 信号の間隔は2分以上開けてください。
  - ミ インデックス打込表示が点灯中は、撮影を止めないでください。

データコードを記録してあるテープにインデックス信号を打ち込むと
インデックス信号を記録した部分のデータコードが消えます。消えた部分を再生すると、直前のデータをそのまま表示します。

再生中に打ち込むと
黒い帯が出ます。この間は音声は出ません。すでに記録されている映像・音声には影響ありません。



インデックス信号を打ち込む

インデックス信号は、撮影中でも再生中でも打ち込むことができます。

インデックス信号を打ち込みたい場面で、インデックス打込みボタンを押す。

インデックス打込表示が出て、約10秒後に消える。

撮影（または再生）の始めに打ち込むとき

撮影スタンバイ（または再生一時停止中）に
インデックス打込ボタンを押してから、撮影（または再生）を始める。

次のページへつづく

ご注意

インデックス信号を記録した部分に他の8ミリビデオデッキなどでPCMアフレコを行うと、インデックス信号が消去されることがあります。

電源スイッチを「ビデオ」にして録画すると
インデックス信号は録画の始めに自動的に打ち込まれます。ただし、録画一時停止の状態から録画すると、打ち込まれません。

インデックスサーチで指定するインデックス番号は
前後に関係なく、今見ている場面から何場面離れているかを指定します。

各場面を次々に見る－インデックススキャン

インデックス信号のついた場面を次々に探し、自動的に約10秒ずつ再生します。

❶ [再生中] または [停止中] に
インデックスボタンを押す。
「インデックススキャン」表示が出る。

❷ **今より前の場面を見る**
→ ◀◀ 巻戻しボタンを押す。
今より先の場面を見る
→ ▶▶ 早送りボタンを押す。
各場面を10秒ずつ再生する。
ふつうの再生に戻すには、▷再生ボタンを押す。

ある場面の頭出しをする－インデックスサーチ

ある特定の場面を探して、頭出しをすることができます。

❶ [再生中] または [停止中] に
頭出ししたいインデックス番号が出るまでインデックスボタンを押す。
「インデックスサーチ」表示が出る。

❷ **今より前の場面を見る**
→ ◀◀ 巻戻しボタンを押す。
今より先の場面を見る
→ ▶▶ 早送りボタンを押す。
選んだ場面の再生が始まる。

ご注意

- データコードを記録してあるテープのインデックス信号を消去すると、その部分のデータコードが消えます。
- カセットの背の誤消去防止ツマミが赤くなっているテープのインデックス信号は消去できません。

他のビデオデッキで打ち込んだインデックス信号は
本機で検出することはできますが、消去できないことがあります。

本機で打ち込んだインデックス信号は
他のビデオデッキで検出することはできますが、消去できないことがあります。

インデックス信号を消去中は
画面下部に黒い帯が出て音声が聞こえなくなりますが、テープ上の記録には問題ありません。

インデックス信号を消す

不要なインデックス信号は、消すことができます。

❶ [再生中] または [停止中] に
インデックス番号を消したい場面の頭出しをする。

インデックススキャンまたはインデックスサーチで行う。

❷ **消したい場面が再生されたら、インデックス消去ボタンを押す。**

消したい場面の再生が始まってから、約2秒〜10秒以内に押す。

消去が終わると、インデックススキャンで選んだ場合は次の頭出しに移る。インデックスサーチで選んだ場合はふつうの再生に戻る。

記録済みのテープにRCタイムコードを打ち込む

記録済みのテープの1コマ1コマの映像に対応したカウンター値（RCタイムコード）を記録できます。

リモコンでのみ操作できます。

いつ使う?

編集したテープやRCタイムコード機能のないビデオカメラレコーダーで撮影したテープに正確なカウンターを記録したいとき。

ご注意

記録済みのテープにRCタイムコードを記録すると、データコードが消去されます。

次のときはRCタイムコードの打ち込みが解除されます。

・ 再生を始める前にタイムコード打込みボタンをもう1度押した、またはインデックスボタンを押した
・ 再生以外のモードに移った

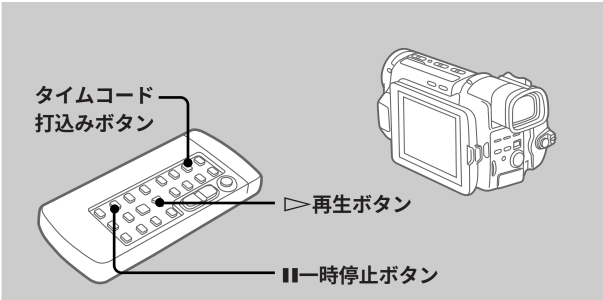
LPモードとSPモードが混じって記録されているときは

正しく読み取れないことがあります。

次のときは、再生中に -:--:--:-- を表示します。

・ 何も記録されていない部分
・ テープの傷やノイズなどでRCタイムコードを読み取れない
・ RCタイムコード機能が付いていないビデオカメラレコーダーで撮影したテープ
・ RCタイムコードが記録してあった部分のインデックス信号が消えた

後の2つの場合は、RCタイムコードを打ち込み直すことをおすすめします。



1 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

2 ▷再生ボタンを押してから、II一時停止ボタンを押す。

3 タイムコード打込みボタンを押す。

タイムコード打込表示が点滅する。

4 II一時停止ボタンを押す。

タイムコード打込表示が点滅から点灯に変わり、0:00:00:00からRCタイムコードが打ち込まれる。

途中で打ち込みを止めるとき

■停止ボタンまたは他のテープ走行ボタンを押す。

途中までRCタイムコードを記録してあるテープに打ち込むとき

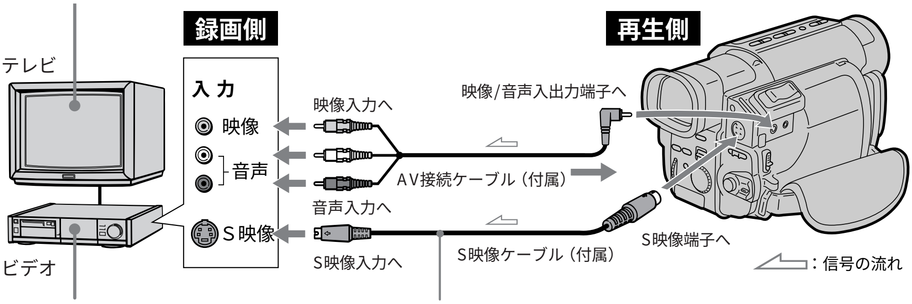
手順2で、RCタイムコードが最後に記録されている場面を出し、手順3、4を行います。

RCタイムコードが打ち込まれていないテープの途中から打ち込む場合、テレビ画面に表示されている画像より数フレーム前の画像から打ち込みが始まります。

他のビデオへ録画する

本機を再生機、他のビデオを録画機として使い、ダビング・編集ができます。

テレビ/ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする。



入力切り換えスイッチを「外部入力（ライン）」にする。

ビデオにS映像端子がついている場合、S映像端子を使うと再生画像がより鮮明になります。（S映像端子を接続したときはAV接続ケーブルの黄色い映像端子は接続不要です。）

相手側のビデオは
以下のどの方式のビデオでも使えます。
8, Hi8, VHS, VHS-C, S-VHS, S-VHS-C, β

音声入力端子がひとつ（モノラル）のビデオにつなぐときは
AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぎます。
音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が記録されます。

❶ 本機に録画済みのカセットを、他のビデオに録画用のカセットを入れる。

❷ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

❸ メニューで「エディット」を「入」にする。（49ページ）

❹ 本機のカセットを再生し、他のビデオに録画したい場面でII一時停止ボタンを押す。

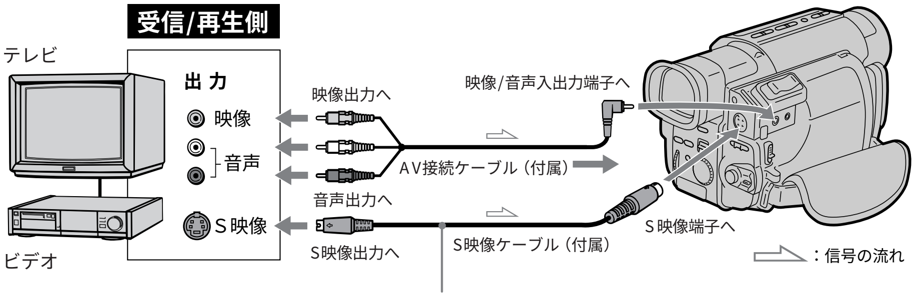
❺ 録画機を録画一時停止にする。

❻ 本機と録画機のII一時停止ボタンを同時に押す。

ダビング・編集が終わったら、メニューで「エディット」を「切」にする。

ビデオやテレビの画像を録画する

本機を録画機として使い、他のビデオの画像
やテレビ番組を録画・編集できます。



テレビやビデオにS映像端子がついている場合、
S映像端子を使うと再生画像がより鮮明になります。
（S映像端子を接続したいときはAV接続ケーブルの
黄色い映像端子は接続不要です。）

ご注意

- ビデオやテレビにS映像端子がない場合、本機にS映像ケーブルはつながないでください。映像が出なくなります。
- 本機の音量は最小にしておいてください。画像が乱れることがあります。

音声出力端子がひとつ（モノラル）のビデオにつなぐときは

AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像出力へ、白いプラグを音声出力へつなぎます。
音声は、左音声として記録されます。

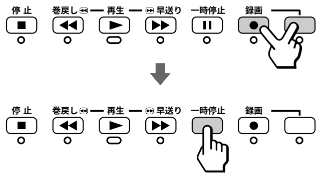
1 本機に録画用のカセットを、他のビデオに録画済みのカセットを入れる。

2 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

ビデオやテレビの画像が液晶画面に出る。

3 本機を録画一時停止にする。

●録画ボタンを2つ同時に押し、すぐに❚❚一時停止ボタンを押す。



4 他のビデオで再生を始める。
または録画したいテレビ番組を受信する。

5 録画したい場面で❚❚一時停止ボタンを押す。

録画が始まる。

バッテリー以外の電源で使う

テープを再生するときなど、長時間使用するときは家庭用コンセントや自動車の電源を使うと、バッテリー切れの心配なく使えます。

ご注意

本体後面のカバー内にある端子には触れないでください。

バッテリー以外の電源で使うとき
メニューのパネルバックライトが自動的に「明るい」になり、液晶画面が明るくなります。このときメニュー画面を出してもパネルバックライトの項目は表示されません。

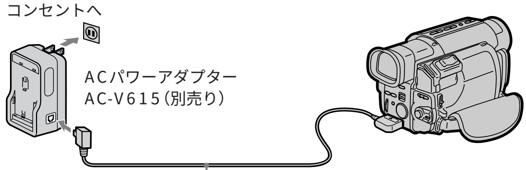
本機に接続コードをつないでいると
バッテリーを入れてもバッテリーを電源としては使えません。

コンセントにつないで使うとき
接続コードをひっぱらないでください。プラグがコンセントから抜けることがあります。コンセントにつないで使うときは、市販の延長コードを使うことをおすすめします。

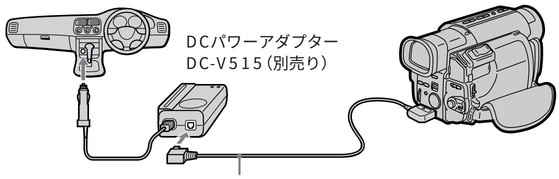
本体内充電をしたときの充電時間（別売りバッテリーパックNP-F530使用時）
本体内充電
　満充電：約3時間30分
　実用充電：約2時間30分
2個同時充電
　満充電：約4時間
　実用充電：約3時間

2個同時充電のときは
本体とACまたはDCパワーアダプターの両方の充電中ランプがつきます。充電が完了すると両方のランプが消えます（実用充電）。どちらかが点灯していたら両方とも実用充電が完了していません。

コンセントにつないで使う

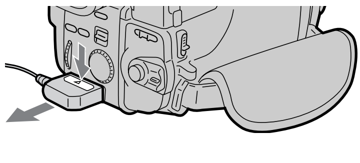


自動車電源につないで使う



接続コードを取りはずす

接続プラグのボタンを押しながら抜く。



上の接続をしてバッテリーの充電をする－本体内充電

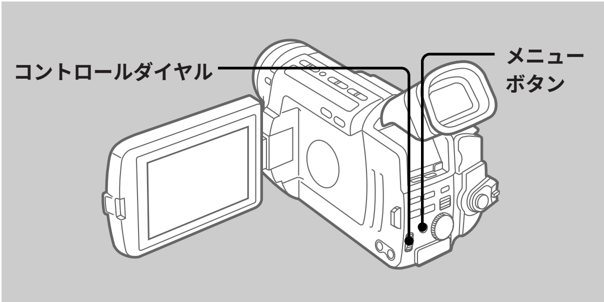
1 上の接続をし、本体にバッテリーを入れる。

2 電源スイッチを「切」にする。
本体の充電中ランプが点灯し、本体内のバッテリーを充電します。充電されると充電中ランプが消えます（実用充電）。
このときACまたはDCパワーアダプターにバッテリーを取り付けておくと2個同時に充電します。

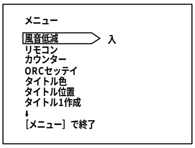
各種の設定を変える – メニュー

ご注意

- 電源スイッチが「ビデオ」のときと「カメラ」のときでは、メニュー内容が異なります。
- 対面撮影中は、液晶画面にメニュー画面が出ません。

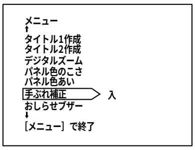


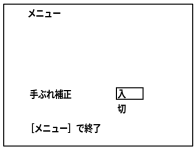
❶ **メニューボタンを押す。**



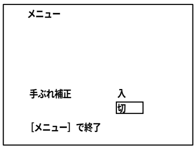
❷ **コントロールダイヤルを回して希望の項目を選び、コントロールダイヤルを押す。**

希望の項目だけが表示されます。





❸ **コントロールダイヤルを回して設定を切り換え、コントロールダイヤルを押す。**



❹ **必要なだけ手順2、3を繰り返す。**

メニュー画面を消す

メニューボタンを押す。

各設定項目の説明　お買い上げ時は、下表の●印側に設定されています。

	項目	設定	意味	どんなとき
電源スイッチが「ビデオ」または「カメラ」のとき	**リモコン**	●入	付属のワイヤレスリモコンが働く	通常はこの位置へ
		切	リモコンが働かない	他機のリモコンによって誤動作するときなど
	カウンター	●ノーマル	通常のカウンターを表示する	撮影時はこの位置へ
		タイムコード	1コマ1コマの映像に対応したテープの位置をカウンターとして表示する（RCタイムコード、44ページ）	より正確な編集をしたいとき
	おしらせブザー	●入	撮影スタート／ストップ時や誤った操作をしたときにブザーが鳴る	通常はこの位置へ
		切	ブザー音が鳴らない。	ブザー音を消したいとき
	パネル色のこさ		液晶画面の色のこさを調節	→詳しくは52ページ
	パネル色あい		液晶画面の色あいを調節	→詳しくは52ページ
	ファインダー明るさ		ファインダーの明るさを調節	→詳しくは53ページ
	ファインダー	●パワーセーブ入	ファインダーから顔を離すと、自動的にファインダーの画像が消える	通常はこの位置へ
		パワーセーブ切	ファインダーから顔を離しても、ファインダーの画像が消えない	常にファインダーに画像を出したいとき
電源スイッチが「ビデオ」のとき	**エディット**	●切	ー	通常は必ずこの位置へ
		入	編集時の画質劣化を低減	ダビング・編集で本機を再生機として使うとき
	バイリンガル	●切	ステレオ音声または主＋副音声で再生	→詳しくは56ページ
		メイン	モノラル音声または主音声で再生	→詳しくは56ページ
		サブ	副音声で再生	→詳しくは56ページ
	TBC	●入	再生時の画面のゆれを補正	通常はこの位置へ
		切	ー	画面が乱れるとき（補正をやめると直ることがあります）
	DNR	●入	再生画の色ノイズを軽減	通常はこの位置へ
		切	ー	色残像が出て気になるとき

次のページへつづく

各種の設定を変える ミ メニュー（つづき）

電源スイッチが「カメラ」のとき

項目	設定	意味	どんなとき
風音低減	●切	ー	通常はこの位置へ
	入	「ボコボコ」という風音 (低音)を低減	風がある場所で撮影するとき
デジタルズーム	●入	ズームが10倍を超えるとデジタルズームが働く（20倍まで）	通常はこの位置へ
	切	デジタルズームを使用しない（ズームは10倍まで）	デジタルズームで画質が低下するのを避けるとき
録画ランプ	●入	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯	通常はこの位置へ
	切	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しなくなる	被写体に撮影していることを意識させたくないとき
日時あわせ		ー	時計を合わせ直すとき →詳しくは54ページ
ORCセッテイ		テープの種類や状態に合わせて最適な状態で録画できるようにする	→詳しくは51ページ
タイトル色		タイトルの色を選ぶ	→詳しくは28ページ
タイトル位置		タイトルの位置を選ぶ	→詳しくは28ページ
タイトル1、2作成		タイトルを作る	→詳しくは29ページ
手ぶれ補正	●入	手振れを補正	通常はこの位置へ
	切	ー	手振れの心配がないとき

電源をはずして5分以上たつと
以下のメニュー項目はお買い上げ時の設定に戻ります。
「風音低減」、「リモコン」、
「エディット」、
「バイリンガル」
その他のメニュー項目では電源をはずしても設定を保持しています。

被写体に接近して撮るとき
録画ランプが「入」になっていると録画ランプの赤色が被写体に反射して映ることがあります。その場合、録画ランプを「切」にすることをおすすめします。

テープに合わせてきれいに撮る―ORC設定

テープの種類や状態に合わせて、最適な状態で録画できるようにします。

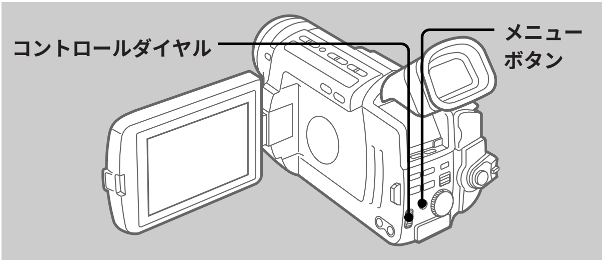
いつ使う？ カセットを入れて、撮影を始める前。

カセットを取り出すと
ORC設定が解除されます。カセットを入れるたびに設定し直してください。

カセットの背の誤消去防止ツマミが赤くなっているテープには
ORC設定はできません。

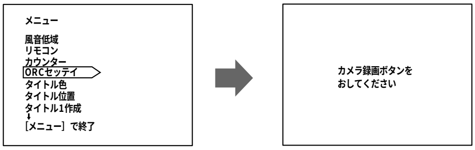
録画済みのテープにORC設定すると
約0.1秒間の無記録部分ができます。ただし、その部分から続けて撮影すれば無記録部分はなくなります。カセットの背の誤消去防止ツマミが赤くなっているテープにはORC設定はできません。

ORC設定をすると
テープの状態を調べるために、テープ上の画像記録を約0.1秒消去します。この空白は設定したところから録画を始めるか上塗り録画しないかぎり消えません。



❶ [撮影スタンバイ中] に、**メニューボタンを押す。**

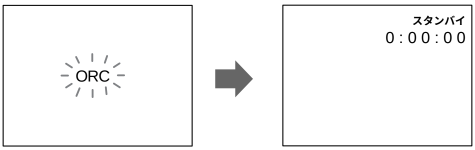
❷ **コントロールダイヤルを回して「ORCセッテイ」を選び、コントロールダイヤルを押す。**



❸ **スタート／ストップボタンを押す。**

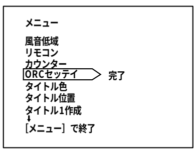
ORC表示が点滅する。

設定が終わると（約5秒後）ORC表示が消え、撮影スタンバイに戻る。

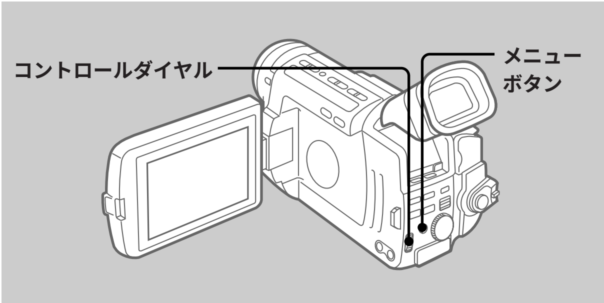


ORC設定を確認するとき

メニュー画面を出して、「ORCセッテイ」を選ぶ。「完了」表示が出たら、ORCは設定済みです。メニューボタンを押して、メニュー画面を消します。

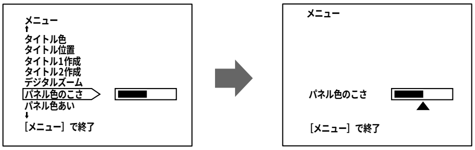


液晶画面の色のこさ・色あいを調節する

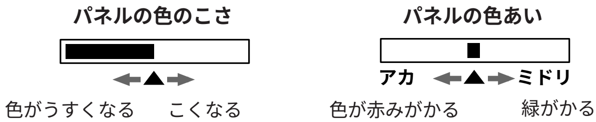


❶ **メニューボタンを押してメニュー画面を出す。**

❷ **コントロールダイヤルを回して「パネルの色のこさ」または「パネルの色あい」を選び、コントロールダイヤルを押す。**



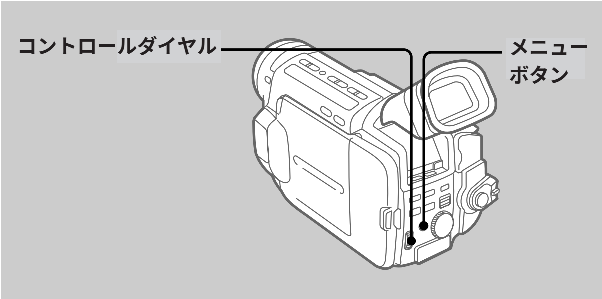
❸ **コントロールダイヤルを回して「パネルの色のこさ」または「パネルの色あい」を調節し、コントロールダイヤルを押す。**



❹ **メニューボタンを押してメニュー画面を消す。**

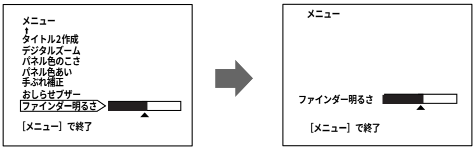
ファインダーの明るさを調節する

ファインダーの明るさを調節するときは
液晶画面を閉じてください。液晶画面を開いているとファインダーには画像が映りません。ただし対面撮影中は、ファインダーにも画像が映ります。

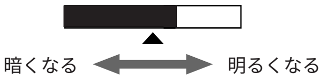


❶ [撮影スタンバイ中] に、**メニューボタンを押してメニュー画面を出す。**

❷ **コントロールダイヤルを回して「ファインダー明るさ」を選び、コントロールダイヤルを押す。**



❸ **コントロールダイヤルを回し、明るさを調節して、コントロールダイヤルを押す。**



❹ **メニューボタンを押して、メニュー画面を消す。**

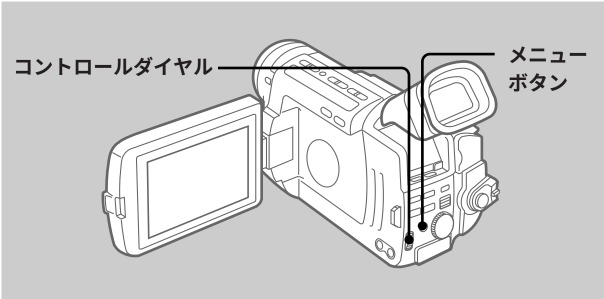
使いこなす

日付・時刻を合わせ直す

お買い上げ時にあらかじめ日付・時刻は設定されていますが、1年近く使わなかったときなどに内蔵の充電式ボタン電池が放電して日付・時刻の設定が解除されることがあります。その場合、充電式ボタン電池を充電してから合わせ直してください。（58ページ）

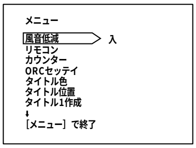
いつ使う?
- 海外に行くとき
- しばらく使わずにいて時計が合っていないとき

真夜中、正午は
真夜中は12:00:00AM、正午は12:00:00PMと表示します。

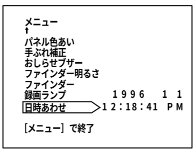


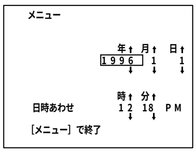
年→月→日→時→分の順で合わせます。

❶ [撮影スタンバイ中] に、**メニューボタンを押してメニュー画面を出す。**



❷ **コントロールダイヤルを回して「日時あわせ」を選び、コントロールダイヤルを押す。**



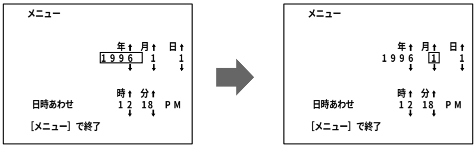


❸ 「年」を合わせる。

コントロールダイヤルを回して「年」を選び、コントロールダイヤルを押す。

年表示は次のように変わる。

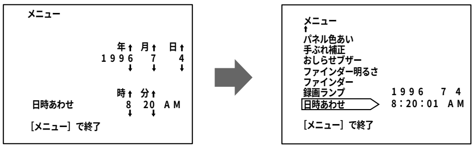
→1996 →1997 →..... 2000 .....→2029 ─┐（2029の次は1996に戻る）



❹ 手順3と同様に「月」、「日」、「時」を合わせる。

❺ 「分」と「秒」を合わせる。

「分」を合わせて時報と同時にコントロールダイヤルを押す。時計が動き始める。



❻ メニューボタンを押して、メニュー画面を消す。

日付・時刻を確認する

日付ボタンを押すと日付が、時刻ボタンを押すと時刻が液晶画面に出る。

もう1度押すと消える。

使えるビデオカセットと記録・再生方式

記録・再生するときのテープの種類

本機ではHi8（ハイエイト）テープHi8とスタンダード8ミリテープ8が使えます。

Hi8（ハイエイト）テープ：
自動でHi8方式の録画→再生

スタンダード8ミリテープ：
自動でスタンダード方式の録画→再生

他のカメラで撮ったテープを本機で再生するときは録画方式を自動で判別します。

Hi8方式：従来のスタンダード8ミリ方式をもとに、さらに高画質、高解像度を追求するために開発されたビデオ方式です。
Hi8方式で録画すると、Hi8方式対応でないビデオでは正常に再生できません。

本機ではLPモードでの録画はできません

再生するときは、録画済みのテープがLPモードで録画されたものでもSPモードで録画されたものでも自動的に判別して再生します（LPモードはSPモードよりも画質が劣ります）。

音声多重放送テープを再生するとき

AFM Hi-Fiステレオ方式で二重音声放送を記録したテープを再生するときは、下の表のように必要に応じてメニューの「バイリンガル」を設定してください。メニューは電源スイッチを「ビデオ」にして出します（48ページ）。

メニューの「バイリンガル」の設定	テレビのスピーカーから聞こえる音声	
	ステレオ放送を記録したテープ	二重音声放送を記録したテープ
「切」	ステレオ音声	主音声＋副音声
「メイン」	モノラル音声	主音声
「サブ」	不自然な音声になります	副音声

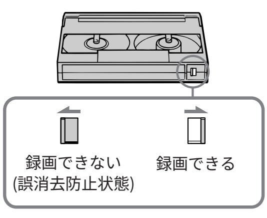
本機では二重音声放送は記録できません。

ご注意

・本機で撮影した画像は、通常のHi8方式より、水平解像度が10％ほど低下します。

・次の場合、音声はモノラルです。
ミ 本機のAFM Hi-Fiステレオ方式で記録したテープをモノラル方式の8ミリビデオで再生する場合。
ミ モノラル方式の8ミリビデオで記録したテープを本機で再生する場合。

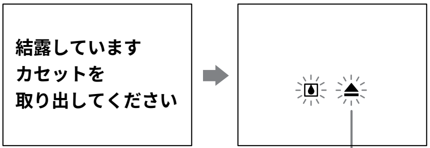
間違って消さないために
カセットの背にある誤消去防止ツマミを横にずらして「赤」にします。



お手入れについて

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起こると、液晶画面に下のように警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。



5秒間表示

テープが入っているときに点滅

結露が起きたときは

カセットは直ちに取り出してください。警告表示が出ている間は、カセット取り出し以外できません。

電源を切ってカセット入れを開けたまま、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてテープ走行ボタンを押しても⏏が点滅しなければ使用できます。

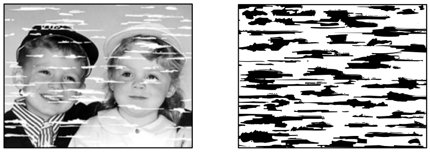
ヘッドをきれいにする

ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかったり、ノイズの多い再生画像になったりします。

次のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットV8-25CLHを使ってヘッドをきれいにしておきましょう。

- 液晶画面に「⊗ヘッドが汚れています」と「クリーニングカセットをつかってください」の表示が交互に出る。または⊗が点滅する。
- 再生画面がザラついている。
- 再生画面が不鮮明。
- 再生画像が出ない。

ビデオヘッドが汚れているときの画像



初期 → 末期

このような画像になったら、クリーニングカセットをお使いください。

ご注意など

結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

ビデオヘッドは

長時間使用すると摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

次のページへつづく

お手入れについて（つづき）

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをおすすめします。

内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1年近く全く使わないと完全に放電してしまいます。充電してからご使用ください。
ただし、充電式ボタン電池が充電されていない場合も、正しい日時は記録できませんが本機を使うことはできます。

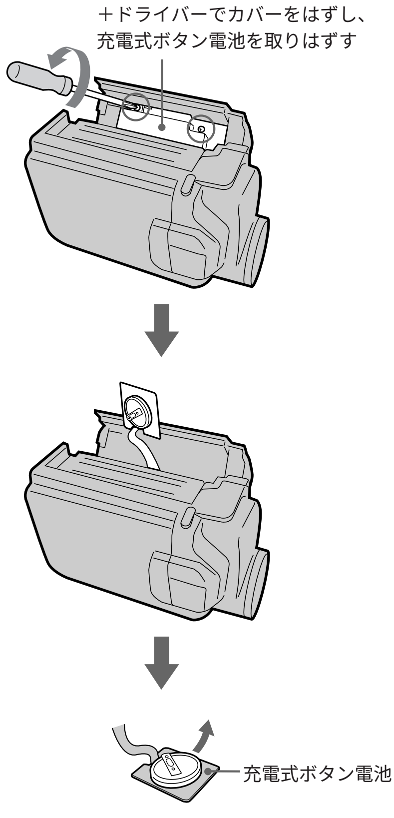
充電方法

本機を別売りのACパワーアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源スイッチを「切」にして24時間以上放置する。

本機を廃棄するときは

環境保護のため充電式ボタン電池を取りはずし、適宜処理してください。

充電式ボタン電池は、カセット入れの内部にあります。



故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店、ソニーのサービス窓口、お客様ご相談センター、またはCCD-TRV101テクニカルインフォメーションセンター（保証期間中のみ）にお問い合わせください。ビューファインダーや液晶画面に見慣れない表示が出たときは、70ページをご覧ください。

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
スタート／ストップボタンを押してもテープが走行しない	・電源スイッチが「カメラ」になっていない。	・「カメラ」にする。	12
	・テープが終わりになっている。	・巻き戻すか、新しいテープを入れる。	10,19
	・カセットが誤消去防止状態になっている。	・そのテープで撮るなら赤いツマミを元に戻す。または新しいテープを入れる。	56
	・テープがヘッドドラムに貼りついている (結露)。	・カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	57
	・スタート/ストップモードスイッチが　になっている。	・　にする。	14
電源が途中で切れる	撮影スタンバイ状態が5分以上続いたとき、バッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するために自動的に電源が切れます。	電源スイッチを一度「切」にしてから、「カメラ」にする。	12
ビューファインダーの画像が極端に暗い、または暗くて見えない	・液晶画面が開いている。	・液晶画面を閉じるか、180。反転させる。	15,21
	・偏光サングラスをかけたまま使うと、ビューファインダーの画像が極端に暗くなり、見づらくなることがある。	—	—
手振れ補正が働かない	・メニューの「手振れ補正」が「切」になっている。	・「入」にする。	33
	・ワイドTVボタンで「ワイド フル」を選んでいる。	・「ワイド　フル」にすると手振れ補正は働きません。	32
オートフォーカスが働かない	手動フォーカスになっている。	手動フォーカスを解除する。	34
液晶画面内に⊗が点滅している	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	57
タイトルの表示位置がずれる	タイトルの前や後ろに余分な空白が入っている。	左端から文字を入れ、タイトルの文字のあとに空白を入れずに↵を選んで決定する。	29

次のページへつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
メニューの「ファインダー」を「パワーセーブ入」にしているときに、顔を離してもファインダーの画像が消えない	太陽光や白熱灯の影響で消えないことがあります。故障ではありません。	—	—

再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
テープ走行ボタンが働かない	・電源スイッチが「ビデオ」になっていない。	・「ビデオ」にする。	17
	・テープが終わりになっている。	・テープを巻き戻す。	19
ビューファインダーの画像が極端に暗い、または暗くて見えない	・液晶画面が開いている。	・液晶画面を内側にして閉じる。	17
	・偏光サングラスをかけたまま使うと、ビューファインダーの画像が極端に暗くなり、見づらくなることがある。	—	—
ろうそくの火やライトなどを暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る	背景とのコントラストが強い被写体の場合に出る現象で、故障ではない。	—	—
明るい被写体を写すと縦に尾を引いたような画像になる	スミア現象といい、故障ではない。	—	—
画像がぼけたり、映らなかったりする	・メニューの「エディット」が「入」になっている。	・「切」にする。	48
	・ビデオヘッドが汚れている。	・別売りのクリーニングカセットできれいにする。	57
音声が小さいまたは聞こえない	・メニューの「バイリンガル」を「サブ」にしてステレオで記録されたテープを再生している。	・「バイリンガル」を「切」にする。	48
	・音量を最小にしている。	・音量を大きくする。	18
画像が上下にゆれる	・メニューの「TBC」を「入」にしてゲーム機の画像を録画したテープを再生している。	・「TBC」を「切」にする。	48
	・メニューの「TBC」を「入」にしてダビングを繰り返したなど記録状況の悪いテープを再生している。	・「TBC」を「切」にする。	48

撮影中・再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
電源スイッチをビデオ／カメラにしても動作しない	・バッテリーが消耗している／入っていない／消耗が近い。	・充電されたバッテリーを入れる。	8,9
	・ACパワーアダプターのプラグがコンセントからはずれている。	・コンセントに差し込む。	47
エンドサーチが働かない	・撮影後にカセットを取り出した。	—	16,19
	・カセットを入れてからエンドサーチボタンを押すまでに、1度も撮影していない。	—	16,19
バッテリーの消耗が早い	・温度が極端に低いところで撮っている。	—	—
	・充電が不充分。	・充分に充電する。	8
	・バッテリーそのものの寿命。	・新しいバッテリーに交換する。	9
カセットが取り出せない	・電源（バッテリーやパワーアダプター）がはずれている。	・電源をきちんと接続する。	9,47
	・バッテリーが消耗している。	・充電されたバッテリーを入れる。	9
💧や⏏が点滅し、カセットの取り出し以外できない	結露	カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	57
付属のワイヤレスリモコンが働かない	・メニューの「リモコン」を「切」にしている。	・「入」にする。	48
	・リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がある。	・障害物を取り除く。	—
	・リモコンの乾電池の⊕極と⊖極が、正しく入っていない。	・⊕極と⊖極を正しく入れる。	66
	・乾電池そのものの寿命。	・新しい乾電池に交換する。	66
本体内充電をした後に充電中ランプが点滅する	故障ではありません。	—	—
電源が入っているのに操作できない	バッテリーまたはACパワーアダプターの接続プラグを取りはずし、約1分後再びバッテリーまたはACパワーアダプターの接続プラグを取りつけ電源を入れる。それでも操作できないときはバッテリーふた内側のリセットボタンを先のとがったもので押す。（この操作をすると日時を含めすべての設定が解除されます。）		47

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

録画内容の補償はできません
万一、ビデオカメラレコーダーやテープなどの不具合により録画や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。
保証書は国内に限られています
このビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。
それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店、また添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口、CCD-TRV101テクニカルインフォメーションセンター（保証期間中のみ）にご相談ください。
保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
部品の保有期間について
当社はビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

海外で使うとき

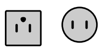
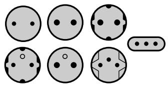
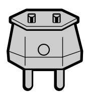
本機は外国でもお使いになれます

別売りのACパワーアダプターAC-V615は、AC100V〜240V・50/60Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。

また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。

再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）および接続ケーブルが必要です。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	 主に北米、南米など	 主にヨーロッパなど
使用する変換アダプター	**不要です。** ACパワーアダプターのプラグを直接差し込みます。	

日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国（五十音順）

・アメリカ合衆国
・エクアドル
・エルサルバドル
・カナダ
・キューバ
・グアテマラ
・グアム
・コスタリカ
・コロンビア
・スリナム
・セントルシア
・大韓民国
・台湾
・チリ
・ドミニカ
・トリニダードトバコ
・ニカラグア
・ハイチ
・パナマ
・バミューダ
・バルバドス
・フィリピン
・プエルトリコ
・ベネズエラ
・ペルー
・米領サモア
・ボリビア
・ホンジュラス
・ミクロネシア
・ミャンマー
・メキシコ
（NHK文研月報による）

主な仕様

システム

録画方式	回転4ヘッドヘリカルスキャン FM方式
録音方式	回転ヘッドFM方式
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
使用可能カセット	8ミリビデオ方式のビデオカセットテープ
テープ速度	SP：約1.43 cm/秒 LP：約0.72 cm/秒（再生のみ）
録画/再生時間	SPモード：2時間 LPモード：4時間(E6/P6-120使用時)（再生のみ）
早送り、巻き戻し時間	約6分(E6/P6-120使用時)
映像素子	CCD固体映像素子
ビューファインダー	電子ビューファインダー （カラー）
レンズ	10倍ズームレンズ 焦点距離 f = 4.2～42 mm （35 mmカメラ換算では48～480 mm） F 1.8～2.9 TTLオートフォーカス機構付き インナーフォーカスマクロ付き
色温度切り換え	自動追尾
最低被写体照度	10ルクス（F 1.8）
被写体照度範囲	10～100,000ルクス
推奨被写体照度	100ルクス以上

入・出力端子

S映像端子	入力/出力自動切り換え 4ピンミニDIN（1） 輝度信号：1 Vp-p、75 Ω不平衡、同期負 色信号：0.286 Vp-p、75 Ω不平衡
映像/音声入出力端子	入力/出力自動切り換え 特殊ステレオミニジャック（1） 映像：75 Ω不平衡、同期負 音声：327 mV、インピーダンス47 kΩ以上
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック （ø 3.5）（1）
マイク入力端子	特殊ミニジャック（1） 0.388mV、DC2.5V 入力インピーダンス6.8 kΩ （ø3.5）
接続端子	26ピンコネクター
ランク端子	ステレオミニミニジャック （ø2.5）（1）
DC出力端子	特殊ミニジャック DC5V（1）

液晶画面

画面サイズ	4型
有効画面領域	80.7×60.6 mm （幅×高さ）
使用液晶パネル	TFT（薄膜トランジスタアクティブマトリクス）駆動
総ドット数	112,320ドット 横480×縦234

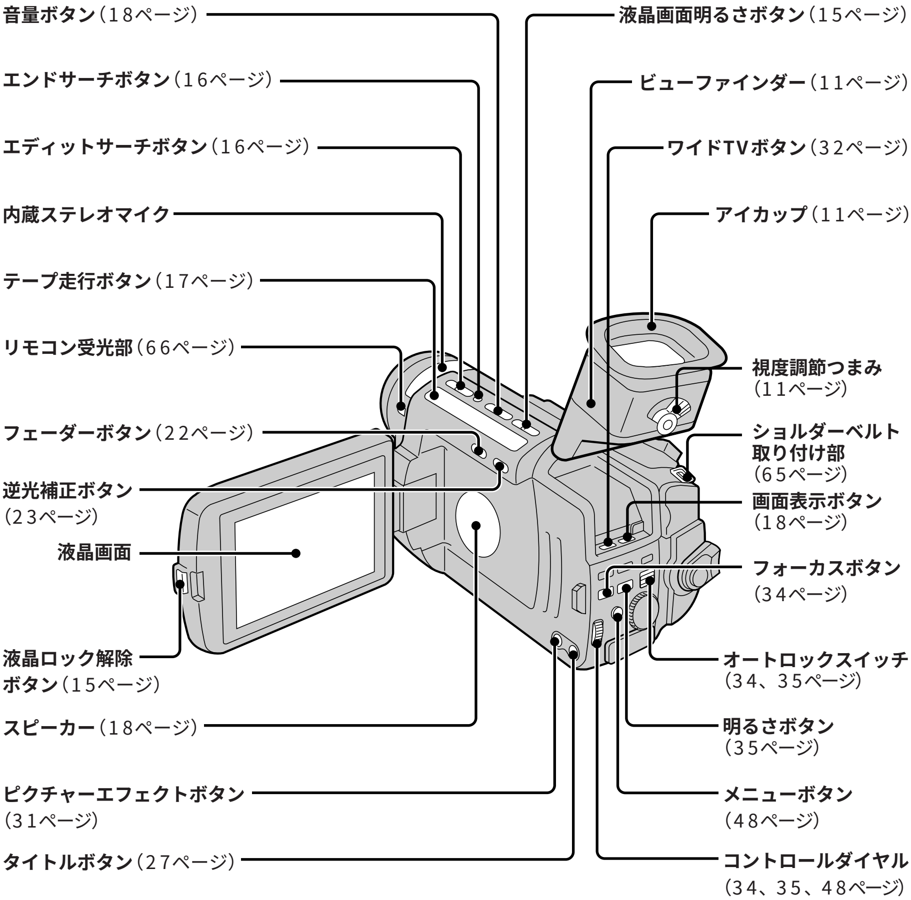
電源部、その他

電源電圧	バッテリー挿入口入力7.2 V 26ピンコネクター8.4 V
消費電力	ビューファインダーを使ってのカメラ録画時: 3.8W 液晶画面を使ってのカメラ録画時: 5.2W
動作温度	0 ℃～+40 ℃
保存温度	−20 ℃～+60 ℃
最大外形寸法	101×99×184mm （幅×高さ×奥行き）
本体質量	約860 g （バッテリー、テープ含まず）
撮影時総質量	約1 kg （バッテリーパックNP-F530、テープP6-120HMP2含む）
内蔵マイクロホン	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク
スピーカー	ダイナミックスピーカー
付属品	ワイヤレスリモコン（1） 単3型乾電池（リモコン）（1） AV接続ケーブル（1） S映像ケーブル（1） 接続コード（1） 撮り方ビデオ（1） 取扱説明書（1） 取扱説明書（安全のために）（1） 保証書（1） ソニーご相談窓口のご案内（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

各部のなまえ 使いかたの説明は、（　）内のページにあります。

本体

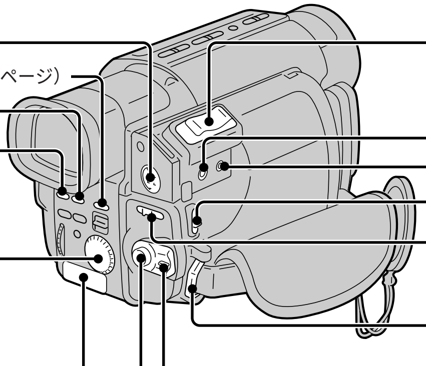


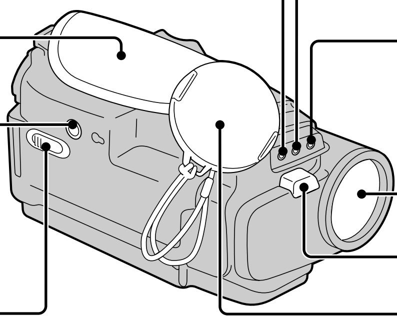
このマークは、ソニーのビデオ機器関連商品の純正マークです。

弊社のビデオ機器をお求めの際は同じマークもしくはソニーのロゴマークがついているビデオ関連商品をおすすめします。

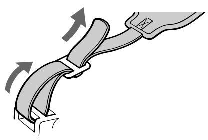
別売りの外部マイクを使う場合
マイク（プラグインパワー）端子はプラグインパワー方式の外部マイク用電源端子とマイク入力端子が兼用になった端子です。外部マイクを使っているときは風音低減機能は働きません。

LANC（リモート）マークについて
は、LANC端子のマークです。LANC端子とは、ビデオ機器と周辺機器を接続し、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。

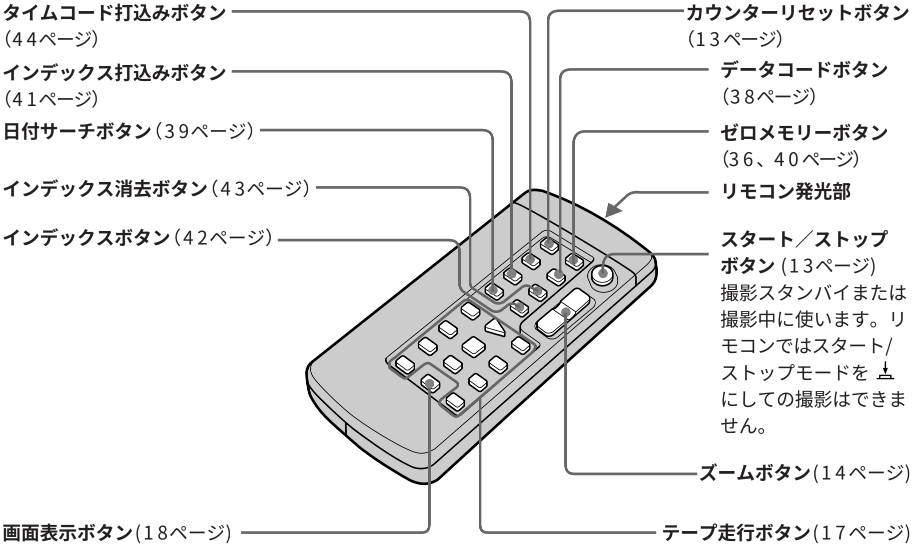




ショルダーベルト（別売り）の取り付けかた

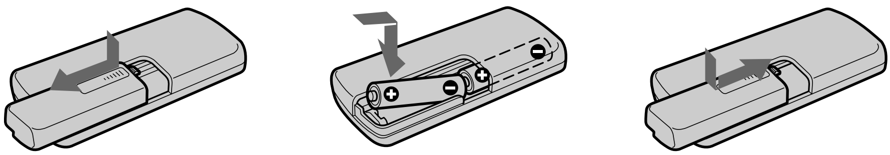


ワイヤレスリモコン



電池の入れかた

❶ 押しながらずらす。　❷ 入れる。　❸ もとに戻す。

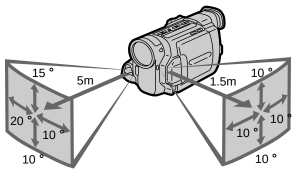


リモコンについて

・本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。

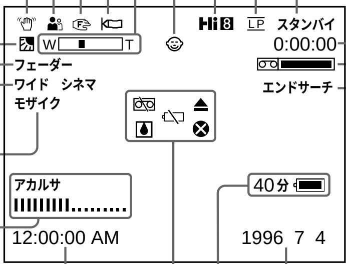
・付属のリモコンで本機を操作しているときに、他のビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをVTR2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

リモコンの操作範囲



操作範囲は室内で使用したときの値です。

液晶画面とビューファインダーの表示



ズーム表示 (14ページ)／**明るさ表示** (35ページ)

風音低減表示 (48ページ)

手動フォーカス表示 (34ページ)

プログラムAE表示 (24ページ)

手振れ補正表示(33ページ)

逆光補正表示(23ページ)

フェーダー表示(22ページ)

ワイドTV表示(32ページ)

ピクチャーエフェクト表示(31ページ)

液晶画面明るさ表示(15ページ)／**音量表示**(18ページ)

データコード表示(38ページ)

警告表示 (70ページ)

対面撮影モード表示(21ページ)

ハイエイト表示(56ページ)
Hi8 (ハイエイト) 方式のとき出る。

LPモード表示
LPモードで記録したテープを再生すると出る。

撮影スタンバイ・撮影中表示 (12ページ)
テープ走行表示

テープカウンター／RCタイムコード表示(44ページ)

テープ残量表示(70ページ)

エンドサーチ表示(16ページ)
日付サーチ／スキャン表示(39ページ)
ゼロメモリー表示(36、40ページ)
タイムコード打込み表示(44ページ)

日付または時刻表示(26ページ)

バッテリー残量表示(70ページ)
バッテリーパックNP-F530を使っているときのみ分の表示が出る。

デモンストレーションについて
本機には機能が一覧できるデモンストレーションが内蔵されています。撮影しようとしたときにデモンストレーションが始まったら、デモンストレーションが出ないようにして撮影を始めてください。

デモンストレーションを見る
1 カセットを取り出して電源を切る。
2 電源スイッチを「ビデオ」にする。
3 テープ走行ボタンの▷再生ボタンを押しながら電源スイッチを「カメラ」にする。
デモンストレーションが始まる。

いったんデモンストレーションが始まると電源を切っても再び電源スイッチを「カメラ」にすると、約10分後に始まります。
カセットを入れると、デモンストレーションは中断されます。

デモンストレーションが出ないようにする
1 電源スイッチを「ビデオ」にする。
2 テープ走行ボタンの■停止ボタンを押しながら電源スイッチを「カメラ」にする。

用語解説

カ行

逆光補正 …23ページ
逆光で被写体が黒っぽく映るのを防ぐ機能。本機は画面全体で明るさをいつも一定の量に保つ働きがある。逆光で撮影するときにもこの一定の「量」を保とうとして、被写体が暗めになる。逆光補正の機能を使うと、この「量」が多くなり被写体を明るめに自動調節する。

サ行

撮影スタンバイ …12ページ
「撮影を待機する・準備する」という意味。電源スイッチを「カメラ」にし、撮影一時停止で次の撮影を待機している状態。

自動ピント合わせ …34ページ
自動ピント合わせは、横方向に走査する映像信号からピントを検出します。そのため、被写体が横じまだけのものや背景とのコントラストの低いものは、自動でピントが合いにくいことがあります。

タ行

タイムコード …RC（アールシー）タイムコードのこと

データコード …38ページ
テープを録画した日付（年・月・日）と時刻（時・分・秒）をテープに記録する機能。再生時、必要に応じて画面上に表示できる。後から撮影日時の確認をする場合などに使える。

手振れ補正 …33ページ
カメラの揺れを感知して、その揺れを補正する機能。手振れ補正を使用しても画質や画角、消費電力は変わらない。

ナ行

ノイズ …19ページ
静止画やピクチャーサーチの画像などに出る、横すじ状の線や画像の乱れ。

ハ行

プログラムAE（エーイー） …24ページ
被写体や撮影状況により適した撮影を可能にする機能。本機には6種類のモードがある。
シャッタースピードやアイリス（絞り）をモードにより自動で調節する。

ヘッド …57ページ
映像や音声信号をテープに記録したり、テープに記録されている信号を読み取ったりする本機の心臓部分。使っているうちに汚れて、きれいに再生できなくなったときは、クリーニングカセットを使ってきれいにする。

ラ行

リモコンモード …66ページ
リモコン信号の種類。ソニー製ビデオ機器間でのリモコンによる誤動作を防ぐために、VTR1・VTR2・VTR3・VTR4の4種類がある。本機はVTR2。編集時は、他のソニー製ビデオデッキをVTR1とVTR3、VTR4のどれかに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさぐ。

ワ行

ワイドTVモード …32ページ
再生したときにワイド画面（横:縦＝16:9）になるように撮影するときの設定。ワイドシネマ、ワイドフルの2種類がある。

ワイドシネマ
横縦比4:3の画像の上下に黒い帯を入れて横縦比を16:9にしてテープに記録する。映る範囲は狭くなるがふつうのテレビで再生したときに横縦比16:9で再生される。

ワイドフル
横縦比16:9のワイドテレビで再生したときに画面いっぱいに映るように画像を縦長に圧縮して記録する。横縦比4:3のふつうのテレビで再生すると縦長に押しつぶされた映像になる。

アルファベット順

AFM Hi-Fi ステレオ …56ページ

スタンダード方式8ミリビデオでAFM Hi-Fiモノラル方式である標準音声トラックをステレオ化したもの。臨場感にあふれ、立体感のある明瞭度の高いステレオ音声。

DNR …49ページ

Digital Noise Reductionの略。フィールドメモリーを利用して前後の映像信号を合成してノイズを削減する機能。再生時の色信号とカメラ録画時のノイズの削減に大いに役立つ。

ID-1方式 …32ページ

ビデオ信号の一部にデジタルのID記号を加算することにより画面の横縦比（16:9、4:3またはレターボックス）の情報を記録するシステムの名称。

LP/SPモード …56ページ

Long playing modeとStandard playing modeの略でテープスピードモードの名称。
LPモードではSPモードの2倍の時間、録画される。

NTSC方式 …62ページ

日本やアメリカなどで使われているカラーテレビ方式。NTSC方式で記録されたテープは、ヨーロッパなどで使われているPALやSECAM方式のビデオでは再生できない。
海外で本機を使うときは、ご注意ください。

ORC …51ページ

テープやヘッドの状態を自動的に判断して、最適な画質で録画する機能。一度設定すればテープを出さないかぎり設定は保持される。

RCタイムコード …44ページ

RCタイムコードとはRewritable Consumerタイムコードの略。1コマ1コマの映像に対応したテープの位置を、時・分・秒・フレーム単位の連続した番号でテープに記録する機能。カウンター映像とカウンター数値が一致しているので、正確なカウンターとして使える。
RCタイムコードは、ビデオ民生用製品独自の8ミリタイムコードで、業務用ビデオの8ミリタイムコードとの互換性はない。

S映像端子 …20ページ

映像信号を構成する色信号と輝度（白黒）信号を分離して、より鮮明な映像を再現する端子。Hi8 (ハイエイト) 方式に適している。本機を記録機として使う場合には映像端子よりもS映像端子を優先的に選ぶ。

TBC …49ページ

Time Base Correctorの略。メカニズムのトルク変動によって発生する映像信号の時間軸誤差ージッター（画像の微妙な横ユレ）を、デジタル技術を用いて、正しく補正させる機能。他のビデオデッキやビデオカメラレコーダーで記録したテープを再生するときに、大いに役立つ。

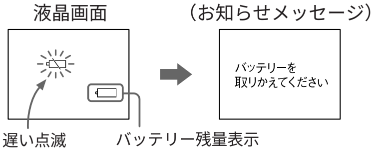
ご注意など

警告表示とお知らせメッセージ

液晶画面とビューファインダーには、次のような表示が出ます。詳しい説明は、(　) 内のページにあります。

・ 対面撮影中はお知らせメッセージは出ません。
・ 表示は実際には黄色です。
・ ♪はおしらせブザー音の鳴るものです。

バッテリー残量



バッテリー残量表示について

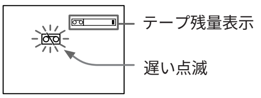
インフォリチウムバッテリーNP-F530をお使いのときは分表示も出ます。＊



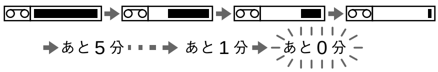
残量表示が▭になると液晶画面にマークが点滅する。インフォリチウムバッテリーNP-F530をお使いのときは残量時間が5分～10分あっても環境によってはマークが点滅する場合があります。

＊残量時間は使用状況や環境により正しく表示されない場合があります。

テープ残量

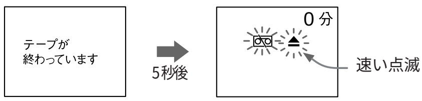


テープ残量表示について



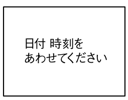
残量表示が「あと5分」になると液晶画面にマークが点滅する。

♪テープの終わり



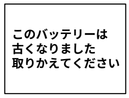
日付・時刻の未設定(54ページ)

日付、時刻を設定してもこのメッセージが出る場合は、内蔵の充電式ボタン電池が放電しています。充電してください。(58ページ)

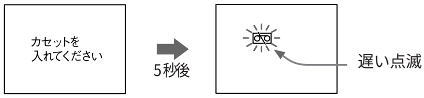


バッテリーの寿命

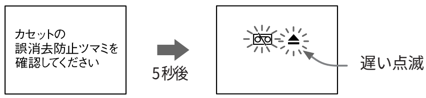
インフォリチウムバッテリーNP-F530をお使いのときのみ表示が出ます。



カセットが入っていない

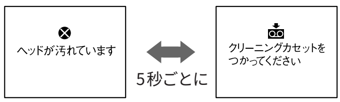


♪カセット誤消去防止（56ページ）

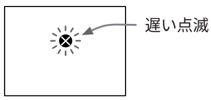


カセットの誤消去防止ツマミを確認する。

ヘッド汚れ（57ページ）

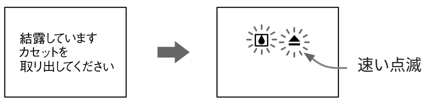


対面撮影中



クリーニングカセットできれいにする。

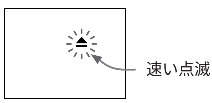
♪結露（57ページ）



テープを取り出し、カセット入れを開けたまま約1時間放置する。

♪その他の異常

一度電源を切り、バッテリーを取りはずす。再びバッテリーを取り付け、電源を入れる。それでも表示が消えないときは、お買い上げ店か、ソニーのサービス窓口にご相談ください。



索引

こんなときはこの機能

撮影するとき

撮影状況に合わせたい

明るい
　スキー場、真夏の海岸
　　→ ビーチ＆スキーモード（24ページ）
　舞台、結婚式
　　→ スポットライトモード（24ページ）
　白い服の人物が白い壁の前にいる
　　→ 逆光補正（23ページ）
　背後に光があり顔が暗くなる
　　→ 逆光補正（23ページ）

暗い
　夜景、夕景、花火
　　→ サンセット＆ムーンモード（24ページ）

風が強い
　→ メニュー：風音低減（48ページ）

撮りたいところが広い
　→ 風景モード（24ページ）

列車から窓の外を撮る
　→ 風景モード（24ページ）

被写体の動きが速い
　ゴルフスイングなど
　　→ スポーツレッスンモード（24ページ）

三脚が使える
　→ 手振れ補正解除（33ページ）

ある部分だけ取り直したい
　→ ある部分だけ取り直す（36ページ）

画像をこうしたい

より自然な感じにしたい
　→ 手振れ補正解除（33ページ）

画像の明るさを調節したい
　..→ 明るさ調節（35ページ）

効果的な場面転換をしたい
　→ フェードイン、フェードアウト
　（22ページ）

被写体を引き立てたい
　→ ソフトポートレートモード（24ページ）

意図的にピントを合わせたい
　→ 手動ピント合わせ（34ページ）

映画のように横長の画像にしたい
　→ ワイドTVモード（32ページ）

タイトルを出したい
　→ タイトル機能（27ページ）

ズーム時の画質の低下を抑えたい
　→ メニュー：デジタルズーム（48ページ）

画像にデジタル処理をしたい
　→ ピクチャーエフェクト（31ページ）

日時を記録したい
　→ 日時を記録する（26ページ）

テープの状態に合わせて録画したい
　→ メニュー：ORCセッテイ（51ページ）

再生するとき

モノラル音声、副音声で再生したい
　→ メニュー：バイリンガル（48ページ）

画面のゆれを補正したい
　→ メニュー：TBC（48ページ）

画像の色ノイズを軽減したい
　→ メニュー：DNR（48ページ）

液晶画面の色が変
　→ 液晶画面の色のこさ・色あいを調節する
　（52ページ）

撮影日の変わり目を探したい
　→ 日付けサーチ機能（39ページ）

見たい場面にすばやく戻したい
　→ ゼロメモリー機能（40ページ）

各場面の頭出しをしたい
　→ インデックス機能（41ページ）

撮影した日時を画面に出したい
　→ データコード（38ページ）

保証期間中の故障に関するお問い合わせは
CCD-TRV101
テクニカルインフォメーションセンターへ
0120-86-4021（フリーダイヤル）

ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35
お問い合わせはお客様ご相談センターへ
●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)539-5111

ご相談になるときは次のことをお知らせください
● 型名：　CCD-TRV101
● 故障の状態：できるだけ詳しく
● お買い上げ年月日

Printed in Japan